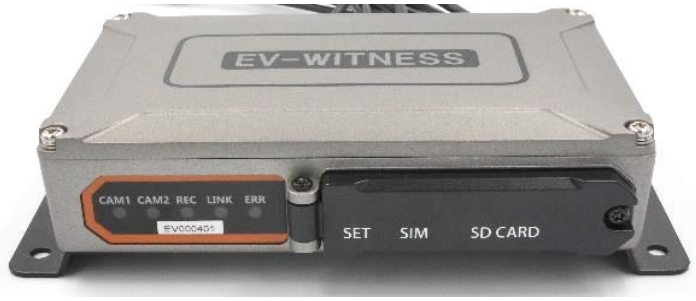
特殊車両用

通信型ドライブレコーダー【全天候型】非通信型兼用

＜イーブイ・ウィットネス＞

EV-WITNESS
ビューワソフト説明書



目次

ページ

ソフトをインストールする

◆ 専用ビューワソフトのパソコン動作環境条件 1
◆ 専用ビューワソフトのインストール手順 1～2
◆ 起動方法 3
◆ ログイン認証パスワード機能 3
◆ 自動更新機能・自動更新表示ON/OFF 4

SDカードを設定する

◆ SDカードの設定・保存方法 5～18

映像を再生する

◆ 専用ビューワソフトの基本機能説明 19～27
◆ 映像再生手順 28
◆ 全カメラ表示ボタン 29
◆ 360度カメラ映像再生画面切り替えボタン 30～31
◆ バック信号、トリガー別映像データの再生 32
◆ 映像の全体拡大・映像の部分拡大 33

映像を保存する

◆ 映像データの保存方法一覧・保存先設定 34
◆ データ一覧・トリガー別一覧のデータ保存・データ変換 35
◆ 保存範囲の指定ファイルのデータ保存・データ変換 36
◆ 再生中の１ファイル（1ファイル５分）のデータ保存 36
◆ スナップ写真（静止画）の保存 37
◆ 全データ保存 37

SDカードをフォーマットする

◆ SDカードの専用フォーマット方法 38～39

映像を管理する

◆ 安全稼働レポート・車両稼働レポート 40～42
◆ CSV出力 43

取付車両によっては、ご利用できない機能もありますので、ご注意ください。

専用ビューワソフトのインストール方法

ソフトをインストールする

EV-WITNESSで記録した映像は、専用ビューワソフト（映像再生ソフト）で再生することができます。
専用ビューワソフトをスムーズにご利用いただけるよう、インストール前に必ずパソコンの動作環境をご確認ください。
＊機器、ビューワソフト（映像再生ソフト）すべての著作権は、株式会社ドライブ・カメラに帰属します。

パソコンの動作環境

専用ビューワソフト（映像再生ソフト）「WITNESS Viewer」稼働条件

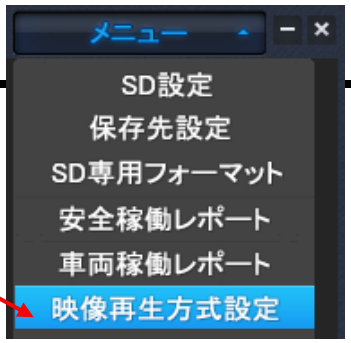
OS推奨	Windows10／ Windows11 (32bit/64bit) ※Microsoft Edgeのインストールが必要
CPU推奨	Intel Core i5-4460以上推奨
メモリー推奨	8GB以上推奨
ハードディスク推奨	1GB以上の空き容量（インストール時）
ディスプレイ	全カメラ表示の場合、1487*720ピクセル以上表示可能なパソコン 1487*720ピクセル未満の場合は、全カメラ表示した場合に全カメラ表示画面(6カメラ)部分が切れて表示されます。
その他	SDカードのリードライトができるインターフェイスを装備している。あるいは、 USB 2.0以上のポートがあること（カードリーダーは本製品に付属していません。） Direct X 9.0以上が必要 （Windows８以上であれば、DirectXは同時にインストールされます。）

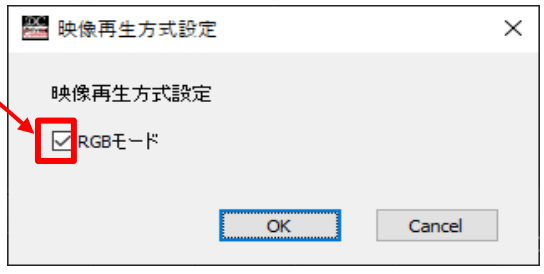
※パソコンに独立したビデオカードが搭載されていない、あるいは、CPU: i5-4460以上でパフォーマンスが20%以上＋150Mのメモリーでない場合は、専用ビューワソフトをお使いになる前にパソコンを再起動してください。また、長時間お使いになる際も定期的にパソコンの再起動をお願いします。
※推奨環境すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
ご使用されるパソコン環境によっては正しく再生されない、正しく動作しない場合もあります。
※必ず、SDXCが読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

映像再生時、ご使用のパソコンスペックにより
専用ビューワソフト（映像再生ソフト）が終了してしまう場合、
映像再生方式設定が必要となります。

1.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
[映像再生方式設定]をクリックしてください。
2.映像再生方式設定画面が表示されます。
チェックボックスにチェックを入れ、
[OK]ボタンをクリックしてください。
設定が完了となります。

※チェックを入れた場合、パソコンのCPUに
負荷がかかりますのでご注意ください。

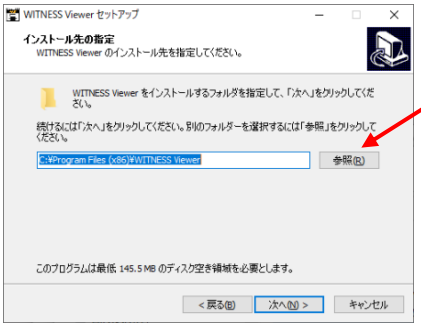




インストール手順

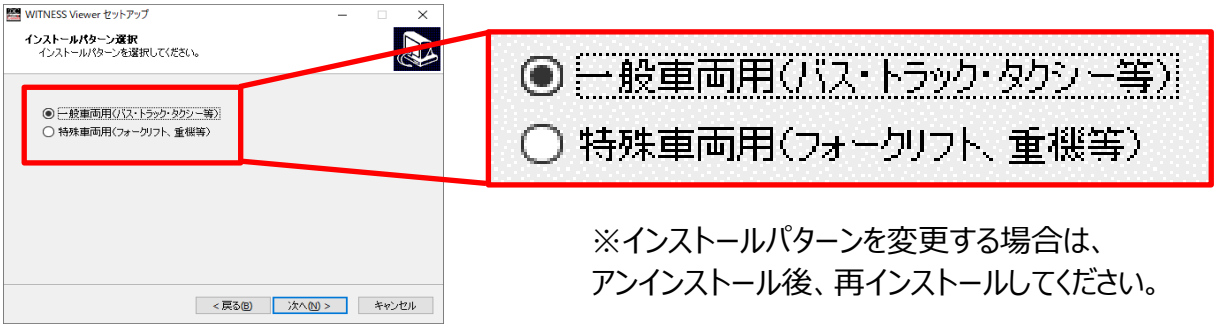
インストール版は、管理者権限でインストールをしてください。
１． 同梱のCD-ROMをご使用のパソコンにセットしてください。
２.「WITNESS Viewer」のインストーラをダブルクリックしてプログラムを起動させてください。

3.下記左の画面が表示されましたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。
4.下記右の画面が表示されましたら、インストール先を指定した上で、[次へ]ボタンをクリックしてください。



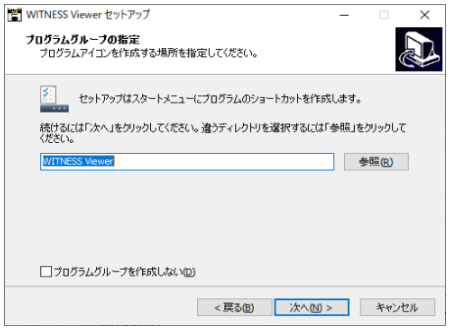
参照ボタンをクリックすると、
任意のインストール先を
指定することができます。
(管理者以外の方がお使い
の場合は、お使いになる方が
アクセスできるところを指定
してください。)
指定後、[OK]ボタンを
クリックしてください。

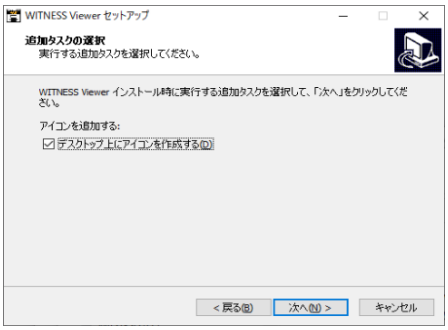
5.インストールパターンを選択してください。



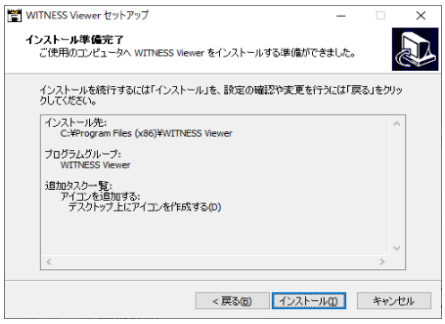
※インストールパターンを変更する場合は、
アンインストール後、再インストールしてください。

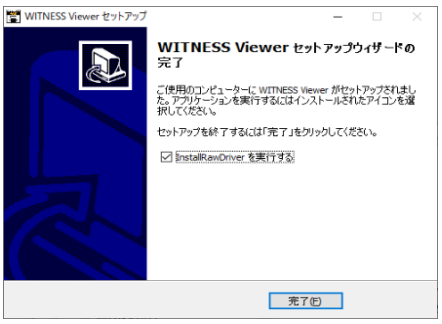
6.下記左の画面が表示されましたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。
7.デスクトップ上に「WITNESS Viewer」のアイコンを作成する場合は、
下記右の画面が表示されましたら、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。





8.下記左の画面が表示されましたら、[インストール]ボタンをクリックしてください。
自動的にインストールが始まります。
下記右の画面が表示されましたら、インストールが完了しました。
[完了]ボタンを選択してプログラムを終了させてください。





インストール方法の手順7で、「デスクトップ上にアイコンを作成する」に、☑チェックを入れた場合、
専用ビューワソフトのアイコンが、パソコンのデスクトップ上に表示されます。

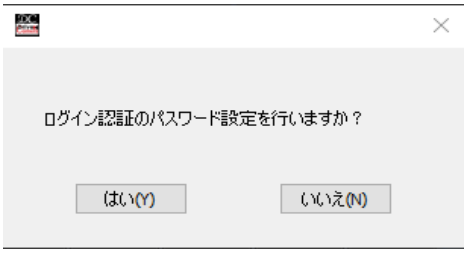
WITNESS Viewer

専用ビューワソフトの起動方法

1.インストールした「WITNESS Viewer」のアイコンをダブルクリックしてください。
2.専用ビューワソフト「WITNESS Viewer」が起動します。
※専用ビューワソフトを、デスクトップなどにコピーする際は、フォルダごとコピーしてください。
フォルダごとコピーしていただかないと起動せず、正常にご使用いただけません。

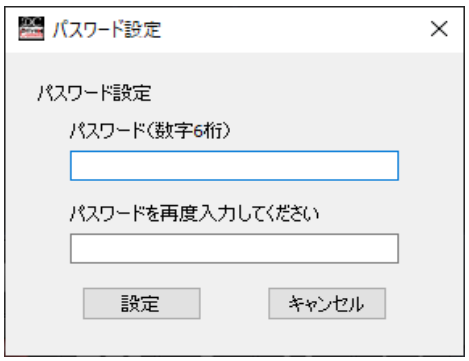
ログイン認証パスワード機能

専用ビューワソフト起動時、ログイン認証パスワード機能が設定できます。
1.専用ビューワソフトのインストール後、最初の起動時のみ下記画面が表示されます。

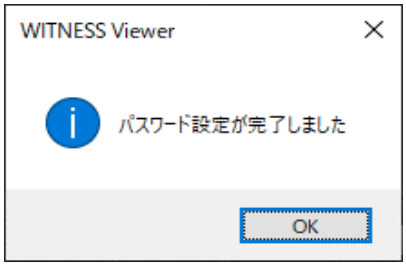


「いいえ」を選択した場合、専用ビューワソフトはそのまま起動します。
次回以降もパスワードは不要となります。

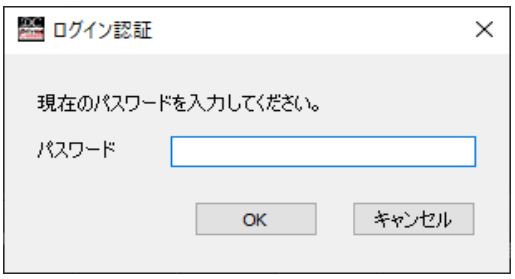
2.「はい」を選択した場合、
下記のパスワード設定画面が表示されます。
設定パスワードを2回入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。
※パスワードは数字6桁。半角のみ入力可。



3.「パスワード設定が完了しました」の画面が表示されましたら、設定完了となります。
[OK]ボタンをクリックし、画面を終了させてください。



4.2回目以降の起動時、ログイン認証画面が表示されます。
設定パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックしてください。
専用ビューワソフト「WITNESSⅣ Viewer」が起動します。



※設定パスワードを変更、またはパスワード設定を無しにする場合は、専用ビューワソフトをアンインストール後、再インストールしてください。

専用ビューワソフトの自動更新機能

専用ビューワソフトのバージョンが更新された際、自動更新のメッセージが表示されます。
＜新しいバージョンが更新されたときのみ、画面が表示されます。＞

1.専用ビューワソフト起動後、
「WITNESS Viewerのバージョンが更新されています。ダウンロードしますか？」の
画面が自動的に表示されます。

2.ダウンロードする場合、「はい」をクリックしてください。
新バージョンのダウンロードが始まります。

3.ダウンロード完了後、「ダウンロードが完了しました。
専用ビューワソフトをインストールしますか？」の
画面が表示されます。

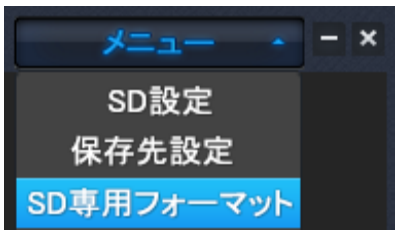
4.インストールする場合、「OK」をクリックしてください。
5.専用ビューワソフトのインストール方法の手順３以降に沿って、インストールを行ってください。

自動更新での専用ビューワソフトのインストール時、SD設定の設定値保存（設定Ａ～設定Ｃ）は、そのまま保持されます。

専用ビューワソフトの自動更新表示ON／OFF

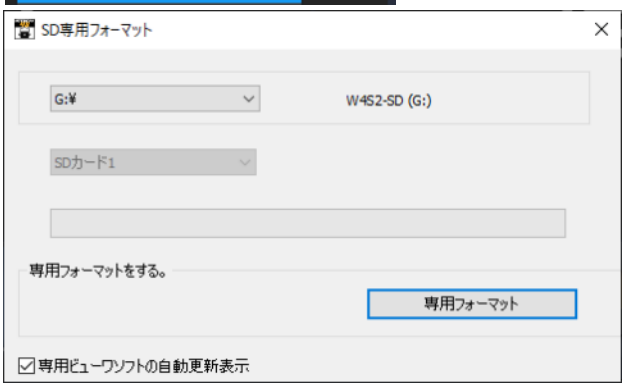
専用ビューワソフトのバージョンが更新された際、自動更新の画面表示のON／OFFが
設定できます。（デフォルト設定：ON　☑チェック有）

1.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
[SD専用フォーマット]をクリックしてください。



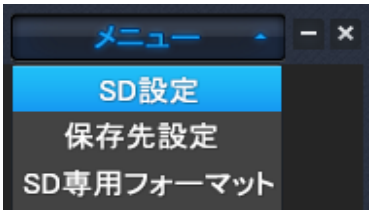
2.SD専用フォーマット画面が表示されます。
画面の「専用ビューワソフトの自動更新表示」の
チェックボックスでON／OFFが設定できます。

☑チェック有り→新しいバージョンが更新されたとき
自動更新の画面が表示されます。
□チェック無し→新しいバージョンが更新されたとき
自動更新の画面は表示されません。

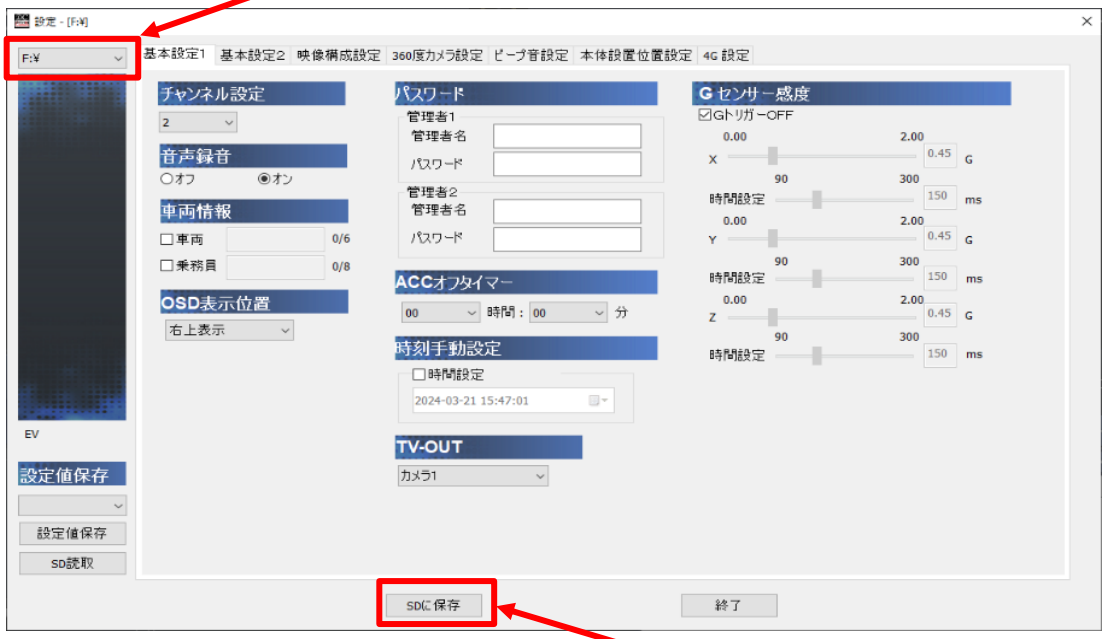


SD専用フォーマット後、SDカードの設定を行ってください。
出荷時は専用フォーマット済です。
EV-WITNESSSのボリュームラベル（名称）は、EV-SDと表示されます。
映像データを録画する前に、専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続し
各種SDカードの設定・保存を行ってください。

SDカードの設定手順



1.専用フォーマット済みの設定するSDカードをカードリーダーに入れ、
パソコンに接続してください。
2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
[SD設定]をクリックしてください。
3.表示されたSD設定画面左上にある読込先をクリックし、
専用フォーマット済みの設定するSDカードを選択してください。



4.基本設定１から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[SDに保存]ボタンを
クリックしてください。

基本設定１→基本設定２→映像構成設定→360度カメラ設定→
ビープ音設定→本体設置位置設定→4G設定→[SDに保存]ボタン

5.「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードの設定値を確認する

1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
3.SD設定画面の左上にある読込先をクリックし、設定値を確認するDカードを選択してください。
4.SDカードの現在の設定値が表示されます。

設定値保存　※複数枚のSDカードを設定する場合、この方法が便利です。

SDカードに保存する各設定値を、専用ビューワソフトに最大３パターン（設定A～設定C）保存することができます。

ソフトに設定値保存する

1.専用フォーマット済みの設定するSDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
3.表示されたSD設定画面左上にある読込先をクリックし、
専用フォーマット済みの設定するSDカードを選択してください。
4.設定値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。

5.基本設定１から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[設定値保存]ボタンをクリックしてください。

基本設定１→基本設定２→映像構成設定→360度カメラ設定→ビープ音設定→本体設置位置設定→4G設定→[SDに保存]ボタン

6.「設定値保存しました」のメッセージが表示されましたら、設定値の保存が完了となります。

SDカードに設定値保存する

専用ビューワソフトに設定値保存済みの設定A～CをSDカードに保存します。
例えば、設定BをSDカードに保存する場合
1.専用フォーマット済みの設定値保存するSDカードをカードリーダーに入れ、
　パソコンに接続してください。
2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
3.表示されたSD設定画面左上にある読込先をクリックし、
　専用フォーマット済みの設定値保存するSDカードを選択してください。
4.設定Bを選択します。
5.各設定タグの設定値が切り替わり、専用ビューワソフトに設定値保存したデータが表示されます。
6.設定値を確認後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
　「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードに設定値保存+追加保存する

専用ビューワソフトに設定値保存済みの設定A～設定C＋車両情報のみをSDカードに
追加保存します。
例えば、設定BをSDカードに保存する場合
1.専用フォーマット済みの設定値保存するSDカードをカードリーダーに入れ、
　パソコンに接続してください。
2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
3.表示されたSD設定画面左上にある読込先をクリックし、
　専用フォーマット済みの設定値保存するSDカードを選択してください。
4.設定Bを選択します。
5.各設定タグの設定値が切り替わり、専用ビューワソフトに設定値保存したデータが表示されます。
6.[基本設定]の車両情報（車両・乗務員）を入力してください。
7.設定値を確認後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
　「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードの設定値を読み取り、ソフトに設定値保存する

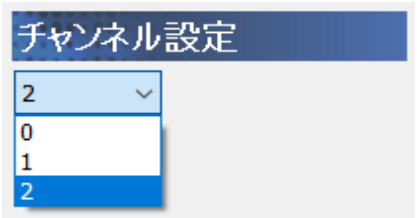
1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
3.表示されたSD設定画面左上にある読込先をクリックし、専用SDカードを選択してください。
4.設定値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。
5.[SD読取]ボタンをクリックしてください。
　(SDカードの設定値を読み取り、SDカードの設定値が表示されます。)
6.[設定値保存]ボタンをクリックしてください。
　「設定値保存しました」のメッセージが表示されましたら、設定値の保存が完了となります。

基本設定１から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[SDに保存]ボタンを
クリックしてください。

基本設定１→基本設定２→映像構成設定→360度カメラ設定→
ビープ音設定→本体設置位置設定→4G設定→[SDに保存]ボタン

基本設定１

チャンネル設定



＜カメラ使用台数の設定＞
CAMERAタグ1～2に接続する使用台数を
設定します。
■**カメラ1台のみを使用する場合**→１を選択。
■**カメラ2台を使用する場合**→２を選択。
■**360度カメラのみを使用する場合**→0を選択。

※チャンネル設定が異なるSD設定の映像ファイルは混在
できません。チャンネル設定を変更する場合は、
必ず、専用ビューワソフトでSD専用フォーマット、
SDカードの各種設定・保存を行ってください。
※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの
映像データは消去されますので、必要な映像データは
パソコンなどへ保存（バックアップ）してください。
また、すべての設定値もリセットされますので、再度
SD設定・保存を行ってください。

音声録音

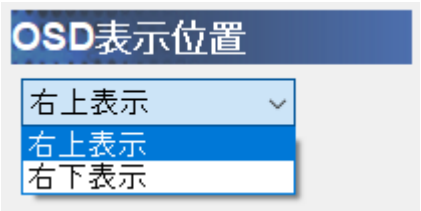
＜音声録音のオンオフ設定＞
音声録音オン・音声録音オフを設定します。

車両情報

＜車両情報を入力＞
車両情報（ナンバープレート）や乗務員情報を
入力することができます。チェックボックスにチェックを入れ、
入力を行ってください。録画した映像ファイルの車両・
乗車している乗務員情報を判別することができます。
※車両情報は、最大6文字。乗務員情報は、最大8文字。
※半角英数字のみ入力可。(大文字小文字に注意。)
　全角は不可。

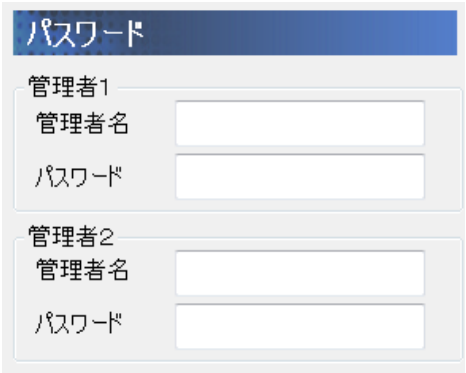
入力した車両は、メイン画面右上の
車両に表示されます。

OSD表示位置



＜OSD表示位置の設定＞
映像再生画面（画面1・画面2）上の、OSD表示
（録画日時・速度表示）の位置（右上または右下）を
設定します。

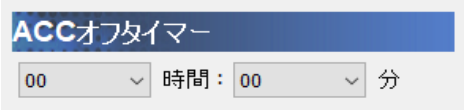
パスワード（管理者1・管理者2）



＜管理者パスワード設定＞
管理者名＋パスワードの設定（最大2人まで）が
可能です。管理者名・パスワード入力を行ってください。
※管理者名・パスワードは、最大15文字。
※半角英数字のみ入力可。(大文字小文字に注意。)
　全角は不可。
※パスワードは忘れないように、きちんと保管してください。

SDカード内自体にセキュリティ（ロック）をかける機能で、
管理者以外が映像再生できないように設定できます。
※管理者名・パスワード設定されたSDの映像データを確認する
　場合は、管理者名+パスワードの入力が必要となります。
※管理者名・パスワードを変更したい場合、既存の設定を
　入力後、基本設定画面で新しい管理者名+パスワードを
　設定することができます。(上書き保存)

ACCオフタイマー



＜ACC OFFタイマー設定＞
ACC OFF（電源OFF）後の起動時間を設定します。
エンジンを切っても、タイマー設定した時間、本体の起動が続き、録画を続けます。
左側が[時間]の設定（00～05）、
右側が[分]の設定（00～59）です。
最大5時間59分まで設定が可能です。

00：00の設定で、タイマーOFF相当となります。
00時間：00分の設定時、ACC OFF（電源遮断）から約12秒後にシャットダウンされます。
4G通信時、4G通信完了後（ACC OFF後最大約3～4分後）にシャットダウンされます。
※電源オフ後の録画時間機能は、車両の常時電源を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。車両バッテリー上がりにご注意ください。
※バッテリーが弱くなっている車両は注意が必要です。
※バッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。
※SDカードの専用フォーマットを行なった際、すべての設定値（ACCオフタイマーも）はリセットされますので、再度SD設定・保存を行ってください。
■カメラ２台接続時の最大消費は、DC12V-1.25A以下です。（360度カメラを接続しない場合）
エンジンタイプのフォークリフトでご使用の場合は、通常90分未満の設定でご使用ください。90分以上の場合は、バッテリーあがりの危険性があります。
また、バッテリータイプ48Ｖのフォークリフトでご使用の場合は、タイマー設定最大値（5時間59分まで）でご使用されても消費電流上問題はありません。
※ご使用されている環境・ご使用状況・バッテリーそのものの状態により、適用しない場合があります。

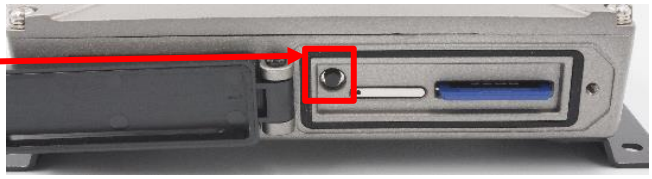
強制終了ボタンの操作方法

※この強制終了ボタンは、ACC OFF＆ACC OFFタイマー設定時（00:01／1分以上設定時）のみ作動します。

ACC OFF後、ACC OFFタイマー中の起動時、強制的にEV-WITNESSの電源を切る場合に使用します。緊急時、SDカードを取り出したい場合にご使用ください。

【操作手順】

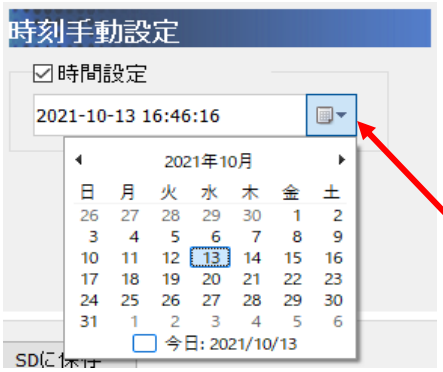
1.ACC OFF後のACC OFFタイマー中、SETボタンを長押ししてください。



2.ビープ音が鳴りましたら、SETボタンから指を放してください。

3.約15秒後、強制終了し、すべてのLEDランプが消灯します。（4G通信していない場合）
すべてのLEDランプ消灯確認後、SDカードを取り出してください。
※4G通信時、4G通信完了後、強制終了し、すべてのLEDランプが消灯します。

時刻手動設定

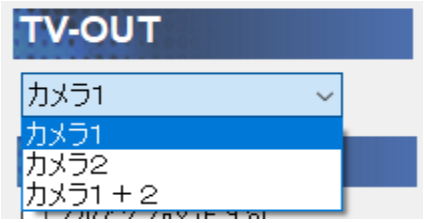


GPS受信ができる環境の場合は、ACC ON時にGPSが受信されましたら、日時は自動的に校正されます。

＜時刻手動設定＞
屋内などでGPS受信ができない環境の場合、SDカード設定時に、手動で時刻設定をしてください。

【設定手順】
1.時間設定に☑チェックを入れてください。
2.カレンダーマークをクリックし、プルダウン表示されるカレンダーで日付を選択してください。
3.カーソルを時間にあわせて、時間を入力してください。
4.[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
5.設定した時間の約12秒前にSDカードを挿入し、本体を起動させてください。
設定した日時が反映されます。

TV-OUT

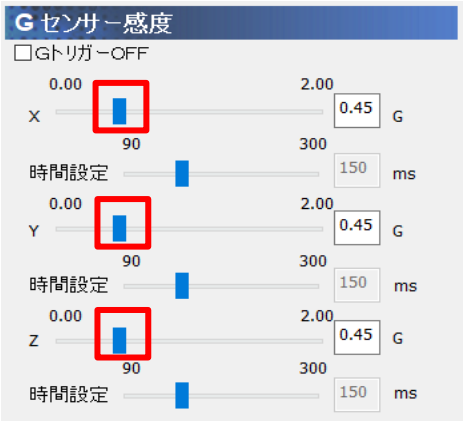


＜TV-OUT設定＞
外部モニターなどを接続した場合、外部モニターなどに表示するEV-WITNESS映像を設定します。

【設定項目】
カメラ1、カメラ2、カメラ1＋2

※360度カメラのTV-OUT設定はできません。

Gセンサー感度設定



Gトリガー（衝撃）を検知しすぎる場合は、Gセンサー数値・時間設定の数値を大きく変更してください。

＜Gセンサー感度（衝撃検知感度）設定＞
本体のGセンサー感度を設定します。

【Gセンサー感度設定】
「X軸・Y軸・Z軸のGセンサー数値」と「時間」で計算されています。

【Gセンサー数値（X軸・Y軸・Z軸）】
赤枠の操作バーでの手動調整か、右側の入力欄に数値を入力する2パターンで設定可能です。
設定単位・・・0.01G
（0.00G～2.00の範囲内で設定可）
※XとYとZを0.00Gに設定した場合、Gトリガーは反応しません。

【時間設定】
時間設定は操作バーで手動調整をしてください。
設定単位・・30ms
（90ms～300msの範囲内で設定可）

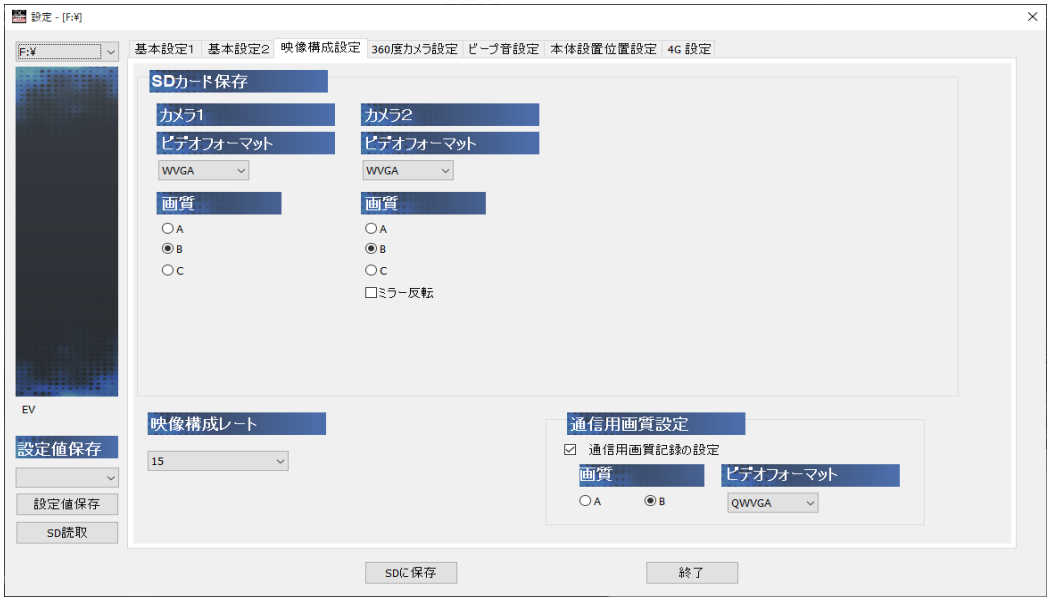
左上の□Gトリガー OFFに、☑チェックを入れると、Gトリガー OFF設定となります。
（デフォルト設定：☑Gトリガー OFF）

基本設定２

自動フォーマット設定

	＜自動フォーマット設定＞（デフォルト設定：ON　☑チェック有） 弊社の他機種または新品の専用SDカードを本体に挿入した時、挿入された本体機器で、自動的にSDカードの専用フォーマットを行い、そのまま使用できるようにする機能です。 自動フォーマットしない場合は、チェックを外してください。 ※専用SDカードの映像データは消去されますのでご注意ください。

映像構成設定

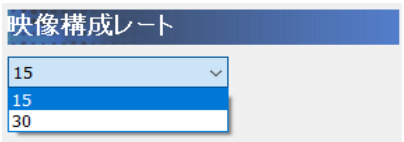


カメラ1・カメラ2のビデオフォーマット・画質

＜ビデオフォーマット・画質の設定＞
カメラ1・カメラ2のビデオフォーマット（画像解像度）を
FULL-HD・HD・WVGA・NTSC（※1）、映像の
画質をA・B・Cから設定します。
※1　NTSC設定はカメラ2のみ可能。
※ビデオフォーマット・画質は、
　カメラ1・カメラ2ごとに個別設定ができます。

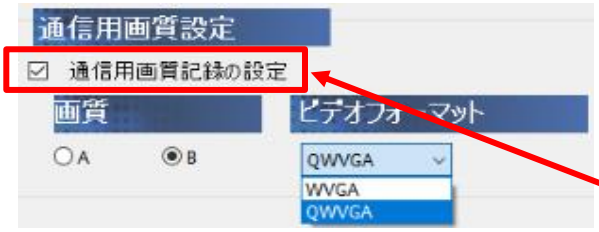
＜ビデオフォーマット・画質の設定＞
カメラ1・カメラ2のビデオフォーマット（画像解像度）をFULL-HD･HD・WVGA・NTSC（※1）、
映像の画質をA・B・Cから設定します。
※1　NTSC設定はカメラ2のみ可能。
※カメラ1・カメラ2のビデオフォーマット・画質は、それぞれのカメラごとに個別設定ができます。
※既存他社のアナログカメラを接続する場合は、NTSCを選択してください。
　接続時、別途変換ケーブルが必要となります。また、既存他社のアナログカメラ自体の電源により
　変換ケーブル使用の可否がありますので別途お問い合わせください。
　（EV-WITNESS本体からのカメラへの電源供給は最大8Vとなります。）
＜ミラー反転の設定＞
カメラ2の□ミラー反転に、☑チェックを入れると、ミラー反転（左右反転）映像が録画できます。
TV-OUT接続時も、☑チェックを入れると、ミラー反転映像となります。

映像構成レート



＜映像構成レートの設定＞
毎秒間の映像構成レート（フレームレート）を、
30fps・15fpsから設定します。
※映像構成レートは、カメラ1・カメラ2共通となります。

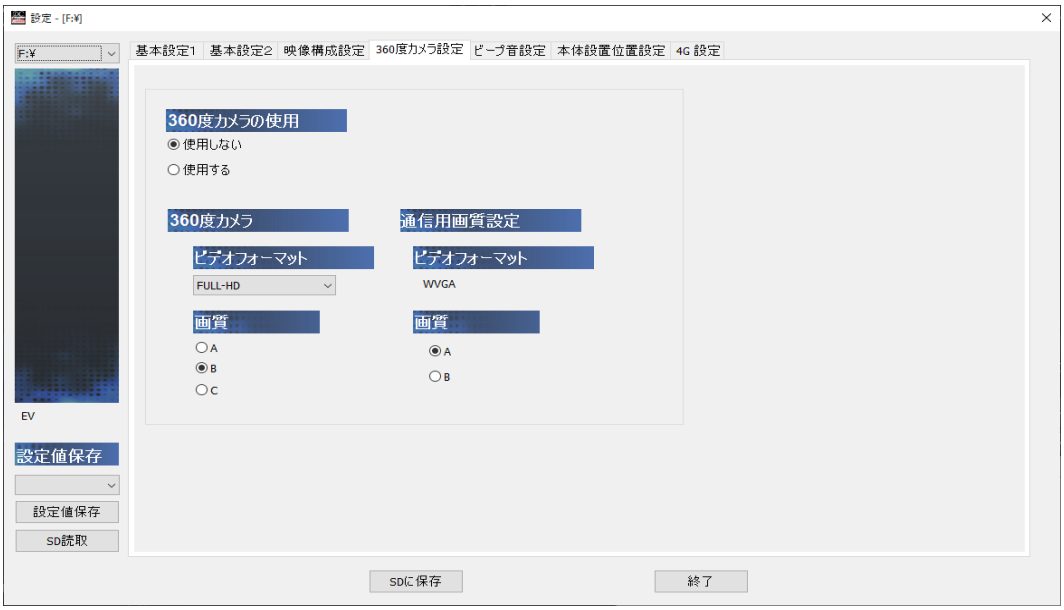
通信用画質設定



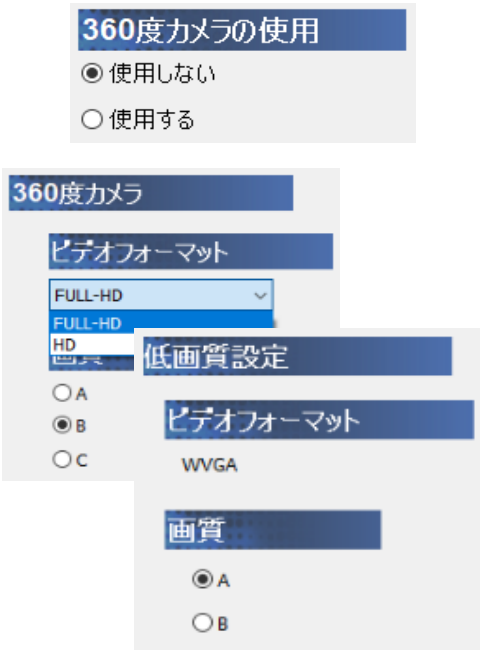
＜通信用画質設定＞
4G通信時の映像データの
ビデオフォーマット（画像解像度）をWVGA・QWVGA、映像の画質を、A・Bから設定します。
4G通信しない場合は、通信用画質記録の設定の☑を外してください。

4G通信時は、必ず☑チェックを入れてください。

360度カメラ設定



360度カメラの使用



＜360度カメラの使用設定＞
360度カメラ使用の有無を設定します。

＜ビデオフォーマット・画質の設定＞
360度カメラのビデオフォーマット（画像解像度）をFULL-HD・HDから、映像の画質をA・B・Cから設定します。

＜低画質設定＞
4G通信時の映像データの
ビデオフォーマット（画像解像度）WVGA固定、
映像の画質をA・Bから設定します。

360度カメラを「使用する」場合、スタンバイモード機能が使用できます。

◆スタンバイモード機能とは、

SD設定画面のスタンバイモードに☑チェックを入れると、360度カメラ使用時＆ACC OFF後、スタンバイモードが機能します。

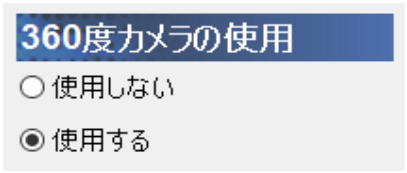
スタンバイモード（1時間　※1）中にACC ONすると、約1～2秒で録画開始します。

（通常、ACC ONからCAM1・CAM2は約12秒後、360度カメラは約30秒後に録画開始。）

※1　ACC OFFタイマー設定時は、ACC OFFタイマー終了後、スタンバイモードになります。
※スタンバイモード中、360度カメラのLEDは緑色点灯します。
　スタンバイモード終了時（1時間後）、360度カメラのLEDは自動で消灯します。
※スタンバイモード機能は、待機電流が流れるため、車両バッテリーへの負荷がかかります。
　車両バッテリー上がりにご注意ください。
※バッテリーが弱くなっている車両は注意が必要です。
※バッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。

◆設定手順

1.360度カメラ設定画面で、
　360度カメラの使用　●使用するを選択。

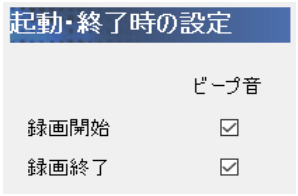


2.基本設定2画面に戻り、
　スタンバイモードに☑チェックを入れてください。

3.他の設定を選択・入力後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

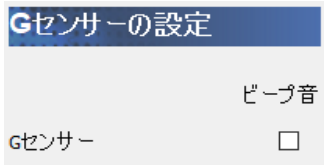
ビープ音設定

起動・終了時の設定



＜起動・終了時の設定＞
録画開始・終了時に流れるビープ音の有無を設定します。
チェックボックスの☑を外すと、ビープ音は流れません。

Gセンサーの設定



＜Gセンサーの設定＞
Gセンサー感度の設定を超えた時に流れるビープ音の
設定します。
チェックボックスの☑を外すと、ビープ音は流れません。

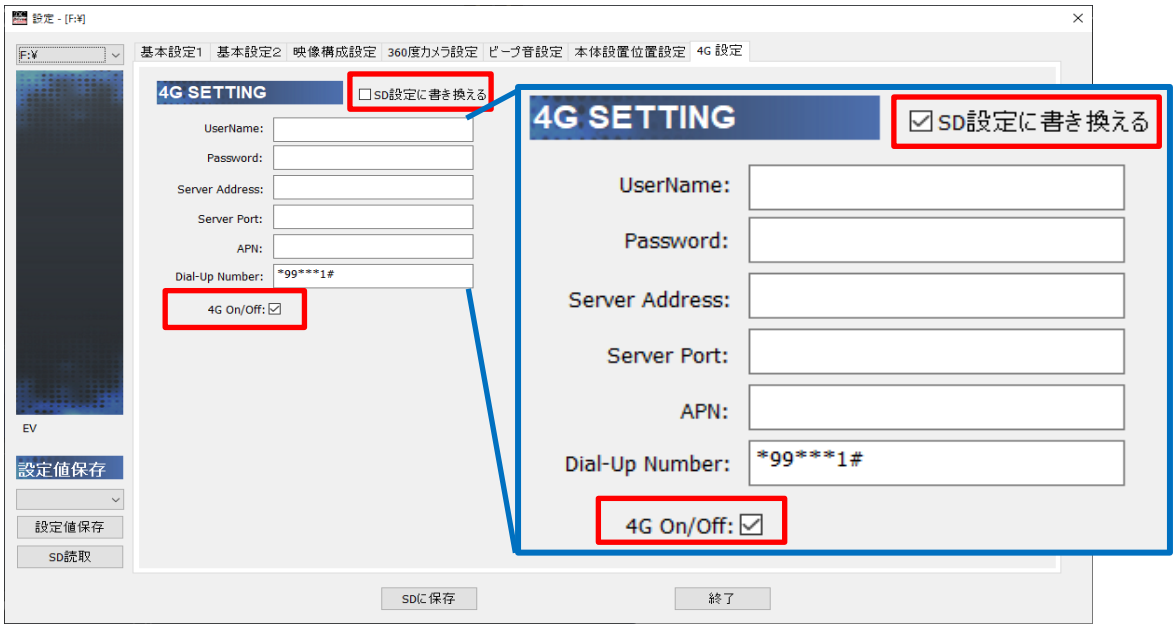
本体設置位置設定

本体設置位置の設定は、取付済みの本体が、進行方向に対して
位置A～Fのどれか確認後、設定してください。

EV-WITNESS取付完了後、車両が水平な場所で、
必ず本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。
※本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

本体設置位置の校正（手動校正）とは、本体の角度が縦向きなどに設置されている場合、
その状態を垂直として認識校正する機能です。
この校正を行わないと、トリガーが頻繁にかかってしまいます。
※水平な場所に車両を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、
　本体設置位置の校正が正しく行われません。
※本体設置位置に対して、±40°以内までは取り付け・本体設置位置の校正（手動校正）が可能です。
※本体設置位置の設定が保存されている専用SDカードを挿入してください。

4G設定



＜4G回線設定／データ通信を行う場合のみ＞ ※360度カメラは通信未対応となります。
EV-WITNESS本体には、すでに4Gモジュールが設置されています。

4G通信を行う前に、4G設定の空欄に必要事項を入力し、必ず
4G On/Offのチェックボックスにチェック☑が入っていること、
SD設定に書き換えるのチェックボックスにチェック☑が入っていることを
ご確認後、画面下の[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

SD設定に書き換える

設定されたSDカードをEV-WITNESS本体に挿入すると、SDカードの設定が
EV-WITNESS本体にも反映されます。
※4G設定は必要事項が入力されていても、☐SD設定に書き換えるにチェック無の場合、
EV-WITNESS本体に反映されません。

■SDカードの4G設定を本体に反映したい場合→チェックを入れてください。
(デフォルト設定：☑SD設定に書き換える)

☑SD設定に書き換える

■SDカードの4G設定を本体に反映したくない場合（本体の設定を維持）
→チェックを外してください。
※SDカードのSD設定自体は変更されません。

☐SD設定に書き換える

専用ビューワソフトの起動方法

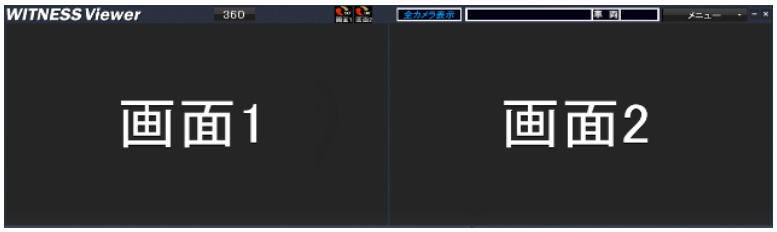
1.インストールした「WITNESS Viewer」のアイコンをダブルクリックしてください。
2.「WITNESS Viewer」が起動します。
※専用ビューワソフトを、デスクトップなどにコピーする際は、フォルダごとコピーしてください。
フォルダごとコピーしていただかないと起動せず、正常にご使用いただけません。

基本機能説明

A	画面１映像再生画面
B	画面２映像再生画面
C	360度カメラ映像再生画面切り替えボタン／ 360度カメラ映像上下反転機能
D	映像再生画面 90度回転機能
E	全カメラ表示ボタン
F	日時・車両番号表示
G	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・ 安全稼働レポート・車両稼働レポート・映像再生方式設定・ ソフトのバージョン情報）
H	最小化ボタン・閉じるボタン
I	速度表示、ブレーキ・ウインカー信号表示画面
J	操作ボタン
K	機能ボタン
L	再生速度・音量調整バー
M	解析グラフ（Gセンサーグラフ・速度グラフ表示画面）
N	明るさ・コントラスト調整バー
O	データ一覧、地図（Google Map）、設定値情報
P	映像日時指定、全データ保存ボタン 信号・トリガー別映像データ抽出
Q	データ保存・データ変換ボタン

A	画面１映像再生画面
B	画面２映像再生画面

映像再生時、再生画面を表示します。
再生画面上にOSD表示（録画日時・速度）が表示されます。
※OSD表示は、SD設定[基本設定]OSD表示位置で、右上表示か右下表示にするか設定可能です。
※OSD表示の大きさは、ビデオフォーマット設定により異なります。
※赤外線機能付きカメラの映像は、赤外線発光時、モノクロ映像となります。



C	360度カメラ映像再生画面切り替えボタン、360度カメラ映像上下反転機能

360度カメラ接続時の映像再生画面表示の切り替え、360度カメラ映像上下反転の選択ができます。　※詳細は、ビューワソフト説明書の映像データの再生部分参照。

D	映像再生画面 90度回転機能

映像再生時、画面1・画面2映像を時計回りに90度回転させることができます。
映像再生時、右記ボタンを左クリックしてください。映像が90度回転されます。
さらにクリックするごとに、90度回転します。4回のクリックで元の画面に戻ります。

E	全カメラ表示ボタン

接続している全てのカメラ（最大3カメラ／4画面）の映像再生画面を表示します。
※詳細は、ビューワソフト説明書の映像データの再生部分参照。

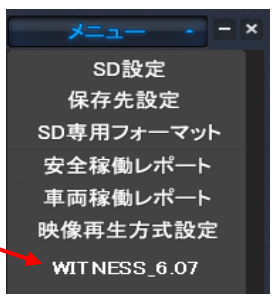
F	日時・車両番号表示

録画日時と車両番号を表示します。
※車両番号は、SD設定[基本設定]車両情報・車両で設定時のみ、表示されます。

G	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・安全稼働レポート・車両稼働レポート・映像再生方式設定・ソフトのバージョン情報）

メニュー内のプルダウン項目から、SD設定・保存先設定・
SD専用フォーマット・安全稼働レポート・車両稼働レポート・
映像再生方式設定ができます。

専用ビューワソフトのバージョン情報が表示されます。



H	最小化ボタン・閉じるボタン

	＜最小化ボタン＞ 専用ビューワソフトの画面サイズを最小化し、パソコン画面の タスクバーに移動させます。
	＜閉じるボタン＞ 専用ビューワソフトを終了します。

I	速度表示、ブレーキ・ウインカー信号表示画面

GPSの状態から、速度表示、ブレーキ・ウインカー情報を表示します。

＜速度・パルス表示＞
映像再生時、GPSが取得できている場合、実際の走行速度を
表示します。（ON表示の場合）

※本製品は、GPSによって速度（スピード）を算出しております。
　低速走行やGPSの受信状況によって、速度（スピード）に誤差が生じたり、速度（スピード）算出が
　状況によっては正常に表示できない場合があります。また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、
　同じ場所での動きとなるため、わかりにくい表示となる場合があります。

＜ブレーキ・ウインカー信号表示＞
実際に使われているブレーキ・ウインカーを模擬表示します。
（例）　※メーカーおよび車種により、ブレーキ信号が異なる場合がございます。

ブレーキ　ハザード　左ウインカー　バック信号　バック信号＋ハザード

車両のイラストは、乗用車・トラック・バス・バイク・フォークリフトを表示します。
車両のイラストをダブルクリックすることで、切り替えが可能です。

車両のイラスト上で左クリックすることで
切替可能です。

J	操作ボタン

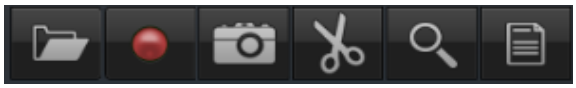
映像の再生状態をコントロールする操作ボタンです。

	前のファイルを再生		コマ戻し
	コマ送り		次のファイルを再生
	再生		一時停止
	停止		

※コマ戻しは1秒単位、コマ送りは1コマ単位となります。
（30fps設定…30コマ、15fps設定…15コマ、10fps設定…10コマ）

K	機能ボタン

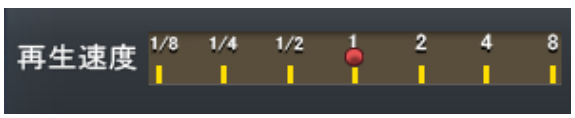
映像の再生・保存時に使用する機能ボタンです。



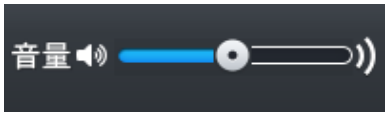
	＜映像を開く＞ SDカードあるいは保存先から再生したい映像データを選択する。
	＜再生映像保存＞ 再生中の１ファイルを保存する。
	＜スナップ写真＞ 映像データのスナップ写真（静止画）を保存する。
	＜保存範囲の指定＞ 指定した範囲の映像データを保存する。
	＜映像部分拡大＞ 映像データの部分拡大（ズーム）機能。
	＜レポート作成＞ 安全運転レポートを作成する。

L	再生速度・音量調整バー

＜再生速度調整バー＞
映像の再生速度を調整します。
バーを右に移動すると再生速度が速くなり、
左に移動すると再生速度が遅くなります。
[1]が通常の速度となります。

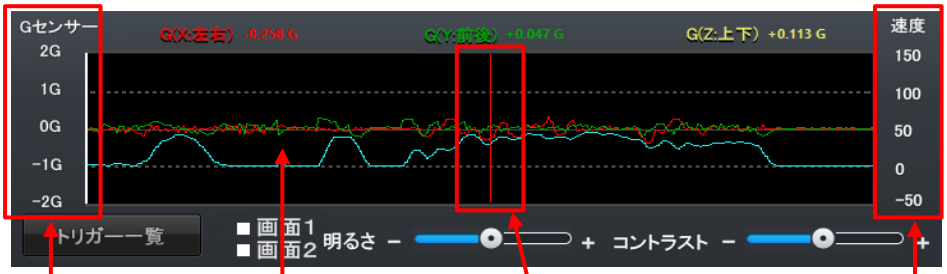


＜音量調整バー＞
映像の音声音量を調整します。
バーを右に移動すると音声音量が大きくなり、
左に移動すると音声音量が小さくなります。



M	解析グラフ（Gセンサーグラフ・速度グラフ表示画面）

走行中に、車両運行情報（Gセンサー）が取得できます。
GセンサーのX方向・Y方向の数値、速度（スピード）を折れ線グラフで表示します。

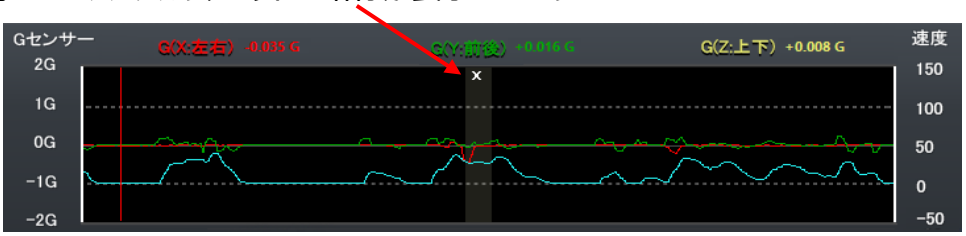


Gセンサー数値　**速度線（水色線）**　**再生バー（赤色線）**　**速度（スピード）**

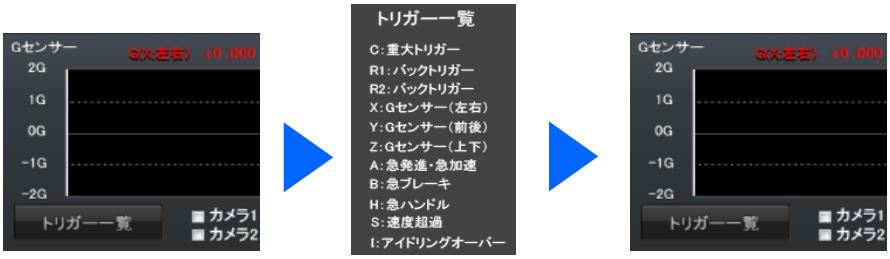
Gセンサーを数値・波形(X・Y)で表示します。
X-G値 (左右)：赤、Y -G値(前後)：緑、Z-G値 (上下)：黄緑
(1) X：走行中、車両の水平状況
(2) Y：走行中、車両の前後状況
(3) Z：走行中、車両の上下状況　※Z軸は数値のみ表示。
※X軸・Y軸・Z軸の左右・前後・上下は、本体の取り付け位置と方向により変わります。
再生バーで、現在どのあたりまで再生しているかを表示します。

バック信号時、速度表示・速度線・
バック信号は、すべて白線・白文字で
表示されます。

◆専用ビューワソフト 特殊車両用をインストール時は、SD設定の□GトリガーOFFの☑チェックを外した設定時、X・Y・Zトリガーのみが表示されます。
各トリガーが発生した部分（各設定を超えた場合）は、
薄いベースとアルファベットの略称が表示されます。

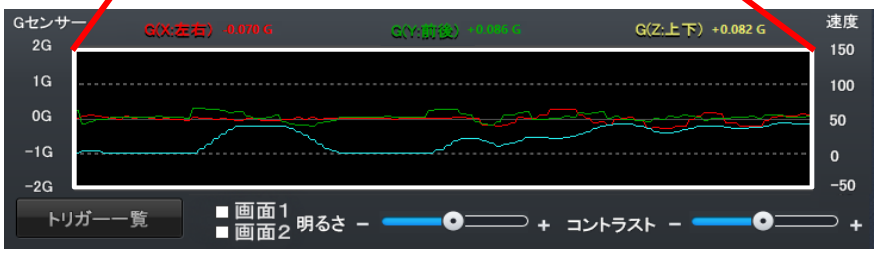


＜各トリガーのアルファベットの略称を確認する場合＞
1.左下の[トリガー一覧]ボタンをクリックする。
2.トリガー一覧が表示されます。（このトリガー一覧は、左クリックで自由自在に移動可能です。）
3.再度、[トリガー一覧]ボタンをクリックすると、表示が消えます。



＜解析グラフの部分拡大（伸ばし）機能＞
1.右クリックで部分拡大させたい部分（範囲）を選択。

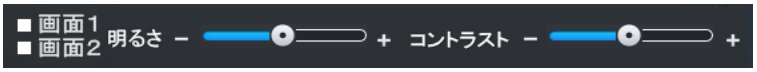
2.解析グラフ横幅まで
　部分拡大されます。



3.右クリックで、元の解析グラフに戻ります。

N	明るさ・コントラスト調整バー

画面１・画面２に☑チェックを入れることで、
映像の明るさ・コントラストが調整可能です。



＜明るさ調整バー＞
映像の明るさを調整します。
バーを＋に移動すると映像が明るくなり、－に移動すると映像が暗くなります。

＜コントラスト調整バー＞
映像のコントラスト（明暗比）を調整します。バーを＋に移動するとコントラストが強くなり、
画面にメリハリがつきます。－に移動すると、コントラストが弱くなります。

O	データ一覧、地図（Google Map)、設定値情報

タグでデータ一覧、地図（Google Map)、設定値情報の切り替えをします。

＜データ一覧表示＞
録画された映像データ（データ一覧）を、
録画日時順に表示します。
再生したい映像データをダブルクリックすると、
映像ファイルの再生ができます。

＜地図（Google Map)表示＞
録画中にGPSが取得できていた場合、
走行位置と走行軌跡をGoogle mapで
表示します。
※パソコンがインターネット未接続の場合は表示
されません。
※本製品は、GPSによって速度（スピード）を算出
しております。低速走行やGPSの受信状況に
よって、速度（スピード）に誤差が生じたり、
速度（スピード）算出が状況によっては正常に
表示できない場合があります。
また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、同じ
場所での動きとなるため、わかりにくい表示となる
場合があります。

※Google mapは参考イメージとなります。

Google Map走行経路の表示
GPS受信環境にある場合は、
Google Map(インターネットに接続されている
場合)に走行中の位置・走行軌跡が表示
できます。
再生時、日時・Gセンサー波形・速度と地図
（GPS受信時のみ）などを表示します。

GPS未受信の映像データは、
下のイラストが表示されます。

インターネットに接続されていない場合、
下のイラストが表示されます。

＜設定値情報＞
映像データの設定値が確認できます。

※一部のみ抜粋

P	映像日時指定、全データ保存ボタン、信号・トリガー別映像データ抽出

＜映像日時指定＞
映像日時指定で、再生したい映像データの時間帯を簡易抽出することができます。

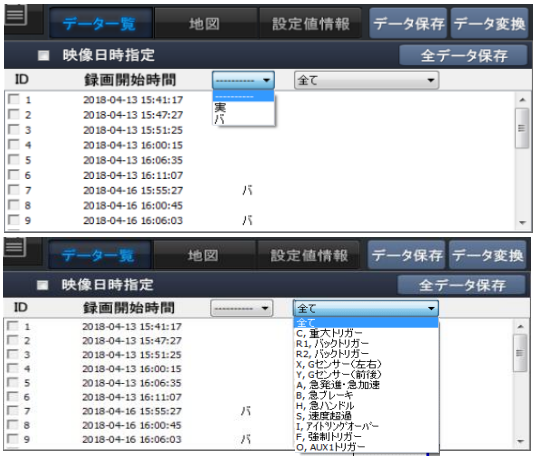
1.データ一覧表示後、
　映像日時指定に☑を入れると、
　映像日時の指定画面が表示されます。
2.日付をカレンダーから選択、
　開始時間・終了時間を選択してください。
3.[抽出開始]ボタンを押してください。
4.データ一覧に抽出した映像日時のみの
　映像データが表示されます。

例えば…1/23　18:30～20:50を抽出したい場合、カレンダーから1/23、開始時間18、終了時間21を選択します。

＜全データ保存ボタン＞
SDカード内の全ての映像データと同じものを保存する機能です。
※全データ保存は、パソコンへの保存が必須となります。
※SDカードからSDカード、デバイスへの全データ保存はできません。
※パソコンのスペック（空き容量）によって、保存するまで時間がかかります。
※パソコンの使用環境によって、HDDの空き容量や他のソフトを実施中にてフリーズしたり、保存に失敗する場合もあります。

＜信号・トリガー別映像データ抽出＞
バック信号ごと、各トリガーごとの映像データの抽出、再生することができます。

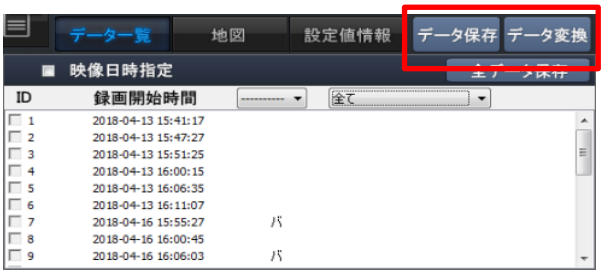
録画されたデータ一覧（5分ファイル）から、各トリガーごとの映像ファイル（衝撃発生前20秒、発生後10秒、合計30秒）を抽出（絞り込み）します。



※全てとは、録画した全映像のことです。
（トリガー有無関係無し）
※重大トリガー：Gセンサー感度の設定値以上に、大きな衝撃と感知した映像を判別し、重大トリガーとして分類します。重大映像確認の時間短縮に特化しています。

Q	データ保存・データ変換ボタン

<データ保存・データ変換ボタン>
映像データのデータ保存・データ変換を
することができます。

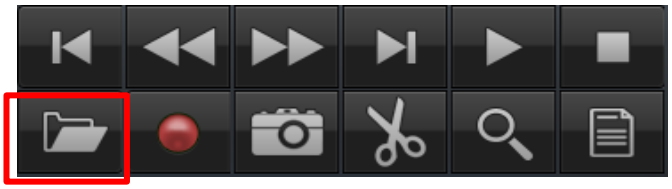


映像データの再生

録画した映像データは、専用ビューワソフトで、再生して見ることができます。
（カメラ1・カメラ2＋360度カメラの映像を同時再生可）
※映像再生時、カメラそれぞれの映像にズレが生じる場合があります。
（映像にズレが生じることがありますが、映像データには問題ありません。）
※360度カメラは、ACC ONから約30秒後に録画開始します。
他カメラは、すでに録画開始していますが、360度カメラは仕様上、約18秒後録画開始されます。

映像再生手順

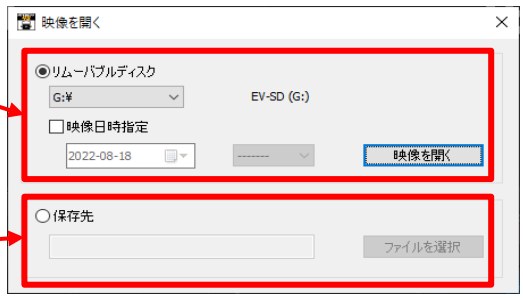
1.録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
(専用SDカード以外の場合は、手順２からご覧ください。)
2.専用ビューワソフトを立ち上げ、 [映像を開く]ボタンをクリックしてください。



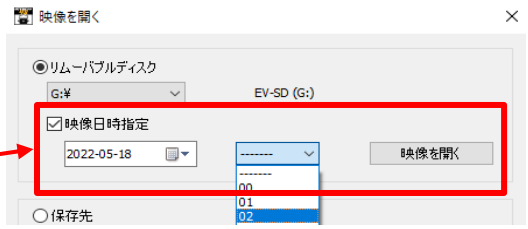
3.再生したい映像データの保存先フォルダを選択してください。

▶専用SDカード内の映像を再生する場合
リムーバブルディスクの選択は不要です。
読込先に、接続したSDカードが自動的に読み込まれます。
EV-SDと表示されているかご確認ください。
[映像を開く]ボタンをクリックしてください。

▶保存先から映像を再生する場合
保存先からファイル選択（映像データを選択）後、
[開く] ボタンをクリックしてください。

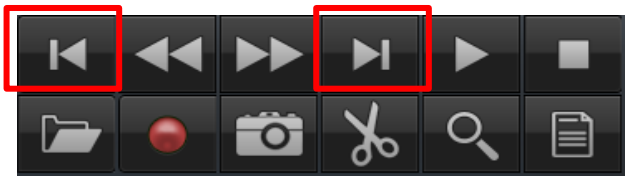


▶指定日時の前30分、後30分を再生する場合
専用SDカード内の映像から、指定した日時の
前30分、後30分抽出することが可能です。
1.接続したSDカードの自動読み込み後、
映像日時指定に☑を入れてください。
2.日時を指定後、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。

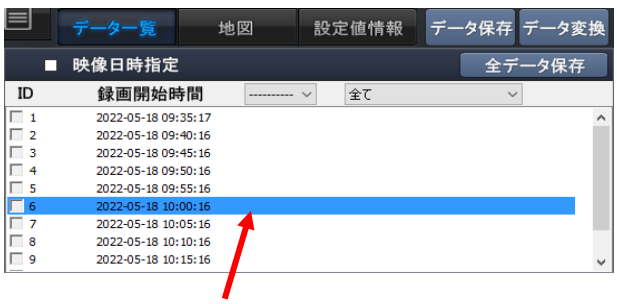


※<u>指定した日時の前30分、後30分の合計1時間の映像</u>（※1）が抽出されます。
※1　映像ファイル名の開始時間が、合計1時間以内に含まれる映像。

4.データ一覧が自動的に表示されます。
再生したい映像データをダブルクリックすると、再生が始まります。



[前のファイル][次のファイル]ボタンのクリックで
前のファイル、次のファイルを再生することが
できます。



再生中の映像データは、水色のバーで表示されます。

全カメラ表示ボタン

[全カメラ表示]ボタンをクリックすると、メイン画面右側に、全カメラの映像再生画面（以下、サブ画面と表記）が表示されます。全カメラの映像が同時再生可能です。
再度、[全カメラ表示]ボタンをクリックすると、サブ画面が消えます。

1.前ページの映像再生手順３まで進めます。
2.メイン画面上の[全カメラ表示]ボタンをクリックしてください。

2.サブ画面が表示されます。
データー一覧から、再生したい映像データをダブルクリックすると、サブ画面で再生が始まります。

※画像は一部加工しています。

3.サブ画面のカメラ1・カメラ2・カメラ3・カメラ4から、メイン画面（画面1・画面2）で見たいカメラの映像を移動します。（ドラッグ＆ドロップで移動します。）

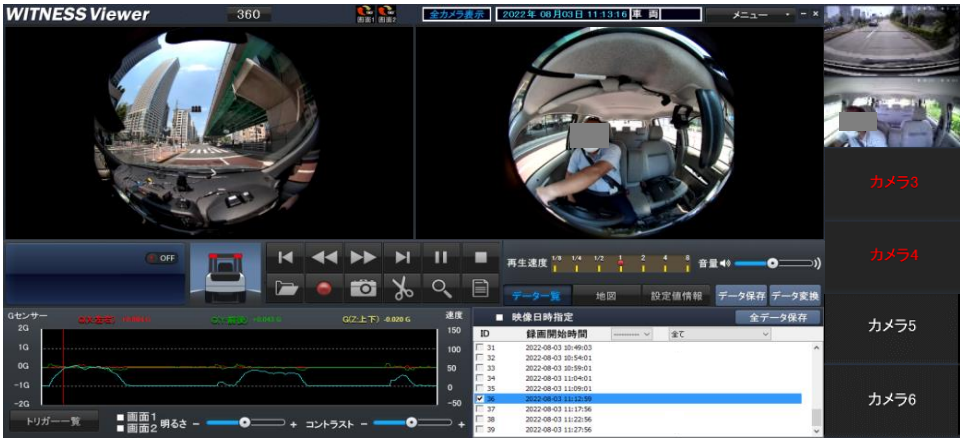
カメラ3を、メイン画面の画面1で映像再生したい場合
①サブ画面のカメラ3映像の上で、マウスの左側のボタンを押したままの状態にします。
②マウスの左側のボタンを押したままの状態で、メイン画面の画面1に移動します。
③メイン画面の画面1の上で、マウスの左側のボタンから指を放します。
※メイン画面の画面1がカメラ3となり、サブ画面のカメラ3は、カメラ3と表示されます。

メイン画面の画面1映像(カメラ3）を、元の位置（サブ画面）に戻したい場合
サブ画面カメラ3をダブルクリックすると、元の位置（サブ画面）に戻ります。

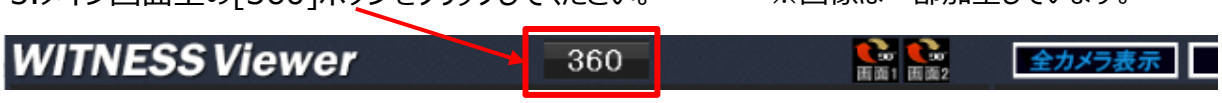
360度カメラ映像再生画面切り替えボタン

※360度カメラ前方がカメラ3、後方IR側がカメラ4になります。
[360]ボタンをクリックすると、360度カメラ映像を、さまざまなパターンで再生できます。

1.映像データ再生 映像再生手順３まで進めます。
2.メイン画面上の[全カメラ表示]ボタンをクリックしてください。
3.サブ画面が表示されます。
　データー覧から、再生したい映像データをダブルクリックすると、サブ画面で再生が始まります。
4.サブ画面のカメラ3映像をメイン画面の画面1、サブ画面のカメラ4映像をメイン画面2の画面にドラッグ＆ドロップで移動します。（詳細は前ページ参照。）

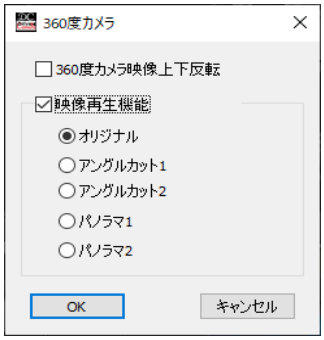


5.メイン画面上の[360]ボタンをクリックしてください。　　※画像は一部加工しています。



6.映像再生機能画面が表示されます。

7.パターンを選択後、[OK]ボタンを
　クリックしてください。
　選択したパターンでの再生が始まります。



○**オリジナル**／マウス操作で画面1・画面2同時に360度回転できます。

○**アングルカット1**／カメラ3とカメラ4の映像が画面1に集約され、360度引き延ばした状態で回転できます。

○**アングルカット2**／マウス操作で画面1・画面2それぞれで上下180度回転できます。

○**パノラマ1**／カメラ3とカメラ4の映像が画面1に集約され、パノラマ映像になります。

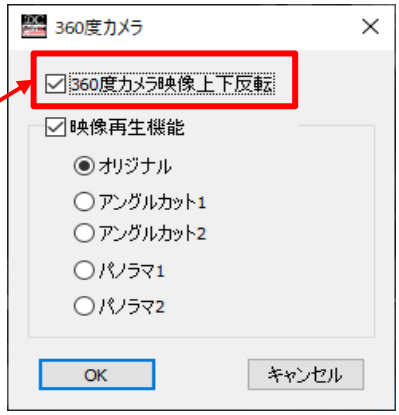
○**パノラマ2**／画面1・画面2それぞれがパノラマ映像になります。

360度カメラ映像上下反転機能

360度カメラステーを下側にして取り付けた場合、
映像再生時、この機能をご利用ください。

前ページの手順7で、360度カメラ映像上下反転に、
☑チェックを入れると、360度カメラ映像が
上下反転して再生可能です。

360度カメラ映像上下反転に☑チェックを入れた場合、
次の映像再生時に、この機能は、そのまま保持されます。

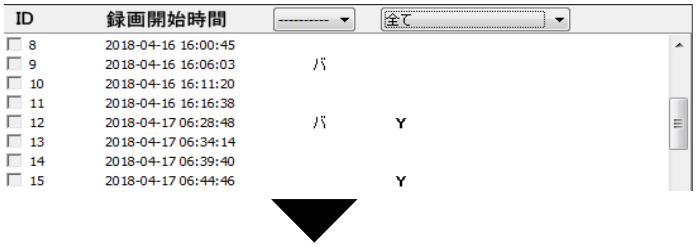


バック信号、トリガー別映像データの再生

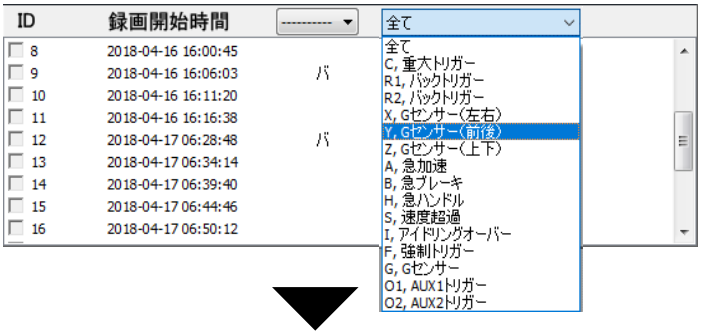
データー一覧から、プルダウン項目で抽出すると、
バック信号のみ、トリガー別の映像データの一覧が表示されます。

◆専用ビューワソフト 特殊車両用をインストール時は、SD設定の□GトリガーOFFの☑チェックを外した設定時、X･Y･Zトリガーのみが表示されます。

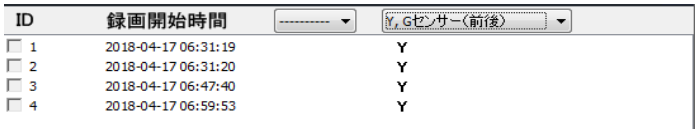
プルダウンから、各トリガーを抽出すると、各トリガー別のデーター一覧に絞り込めます。
再生したい映像データをダブルクリックすると、再生が始まります。



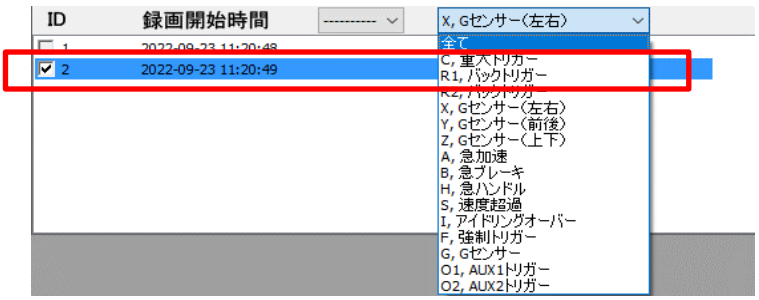
Y：Gセンサー（前後）を抽出。



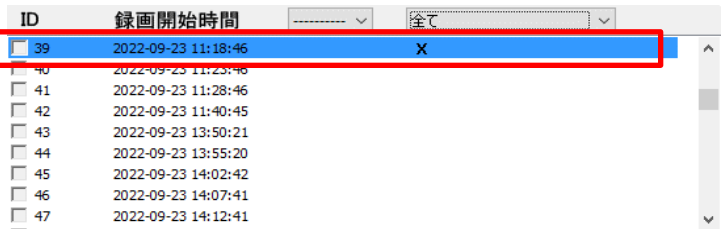
Y：Gセンサー（前後）のみの映像データが抽出されます。



各トリガー別の映像データ（30秒ファイル）で抽出・映像確認後、
5分ファイルに戻りたい（5分ファイルを表示したい）場合に、[全て]ボタン機能がオススメです。



■トリガー別一覧（30秒ファイル）で☑チェック有→
プルダウンで[全て]を選択



☑チェック有のトリガー別映像ファイルが含まれる5分ファイルが、データー一覧の1番上に表示されます。
※スクロールで前後の5分ファイルの確認もできます。

■トリガー別一覧（30秒ファイル）で□チェック無→プルダウンで[全て]を選択した場合、
データー一覧（5分ファイル）が、1ファイル目から表示されます。

映像の全体拡大

画面１・画面２映像再生画面が、それぞれ全体拡大できます。

全体拡大 （画面1または画面2内にサブ画面**無**）	全体拡大 （画面1または画面2内にサブ画面**有**）
映像再生画面（画面１または画面２）を 左ダブルクリック ↓ 映像再生画面より大きく全体拡大 ↓ さらに左ダブルクリック ↓ パソコン画面まで全体拡大 ↓　※パソコン画面までの全体拡大時、 ↓　　パソコンのスペースキーを押すことで、 ↓　　映像の一時停止・再生が可能です。 さらに左ダブルクリック ↓ 通常の映像再生画面に戻る	映像再生画面（画面１または画面２）を 右ダブルクリック ↓ 映像再生画面より大きく全体拡大 ↓ さらに右ダブルクリック ↓ 通常の映像再生画面に戻る ※画面１を全体拡大した場合、画面２の 映像が右上にサブ画面として表示。 ※画面２を全体拡大した場合、画面１の 映像が右上にサブ画面として表示。 ※画面1または画面2内のサブ画面にカメラ2台の 映像は表示されません。

QWVGA映像の全体拡大
映像再生画面（画面１または画面２）を左ダブルクリック ↓ 映像再生画面まで全体拡大 ↓ さらに左ダブルクリック ↓ 通常のQWVGA映像再生画面に戻る ※QWVGA映像の全体拡大は、映像再生画面までとなります。

映像の部分拡大

映像再生時、一時停止中に、映像を部分拡大（ズーム）して見ることができます。

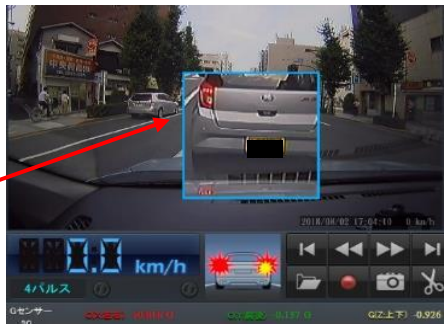
1.映像再生時、[一時停止]ボタンをクリックしてください。

2. [部分拡大]ボタンをクリックして、画面１または、画面２
映像再生画面にカーソルを移動させてください。

3. 水色の枠があらわれ、部分拡大（ズーム）されます。

4. [再生]ボタンをクリックすると、
元の映像再生画面に戻ります。

※専用ビューワソフト　一般車両用を
インストール時の画面となります。



※専用ビューワソフト　一般車両用を
インストール時の画面となります。
※画像は一部加工しています。

	データ保存 （RAW形式）	データ変換 （AVI形式）
データー覧 （1ファイル５分）	○ 保存手順１	○ 保存手順２
トリガー別一覧 （1ファイル30秒）	○ 保存手順１	○ 保存手順２
保存範囲の 指定ファイル	○ 保存手順３	○ 保存手順３
再生中の１ファイル （1ファイル５分）	○ 保存手順４	×
スナップ写真	静止画（ビットマップ画像）として保存します。 保存手順５	
全データ保存	SDカード内全ての映像データと同じものを データ保存します。 保存手順６	

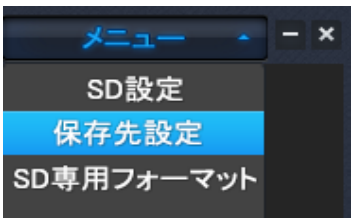
※RAW形式
専用ビューワソフトのみで再生可能なデータ
※AVI形式
パソコンの環境があれば、専用ビューワソフトがなくても再生可能なデータ

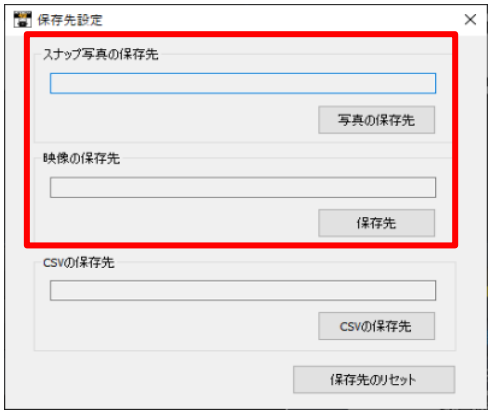
※パスワード設定されたSDカードから、RAW形式で保存した場合、
パスワードも同時に保存されます。（映像再生時、パスワードの入力が必要となります。）
※データ変換時、カメラそれぞれに音声・OSD表示が入ります。
※再生中の1ファイルは、データ保存のみ可能。
複数ファイルの保存・トリガー別ファイル・保存範囲の指定ファイルでの使用不可。

保存先設定

事前に指定した保存先に、常に自動保存する場合

1.専用ビューワソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]
プルダウン項目から、[保存先設定]をクリックしてください。
2.画面のスナップ写真の保存先「写真の保存先」ボタン、
または、映像の保存先[保存先]ボタンをクリックし、
保存先を設定してください。
3.右の画面で保存先を指定した場合、映像データの
保存時、2で指定した保存先に自動的に保存
されます。
※毎回、保存先指定画面が表示されません。
※保存先を指定していても、再生中の1ファイル
（保存手順4）、全データ保存(保存手順6）は、
保存先指定画面が必ず表示されます。





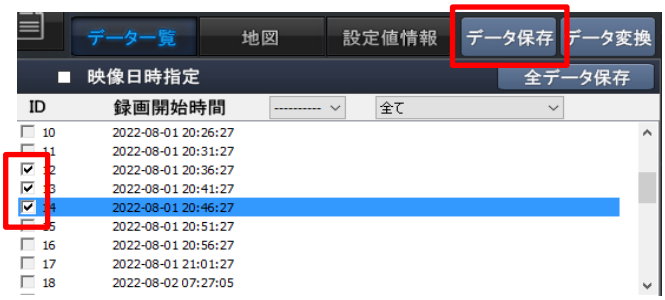
毎回、保存先を指定して、保存する場合

右上の保存先設定画面が、すべてブランク（空白）であることをご確認ください。
映像データの保存時、毎回、保存先指定画面が表示されます。その都度、保存先を指定してください。
[保存先のリセット]のクリックで、保存先を初期化（ブランク（空白））にします。

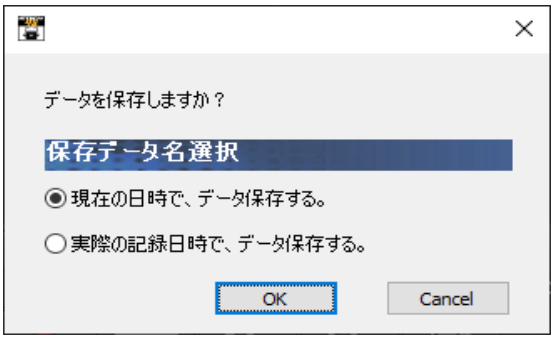
保存手順1

データー覧・トリガー別一覧のデータ保存

データー覧・トリガー別一覧をデータ保存（RAW形式
※専用ビューワソフトのみで再生可能なデータ）します。



1.保存したい映像データの左側の
　チェックボックスにチェックを入れてください。
　※チェックボックスは、ワンクリックで☑が入り、
　　ダブルクリックで、チェックが外れます。
2.[データ保存]ボタンをクリック後、
　右の画面が表示されます。
　保存するデータ名をどちらにするか選択後、
　[OK]ボタンをクリックしてください。

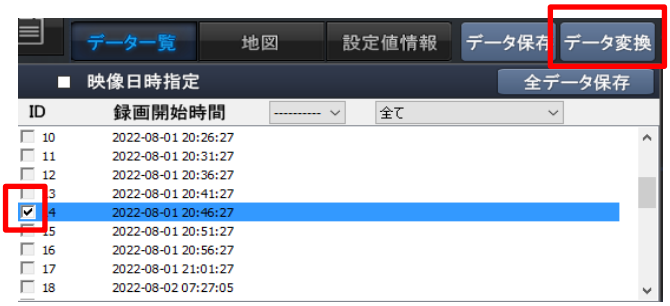


3.保存先指定画面が表示されます。
　保存先を指定してください。
4.保存が開始されます。
5.[保存を完了しました]と表示されましたら保存完了です。
※仕様の関係上、データ保存した際、録画時間より
　長く保存される場合があります。

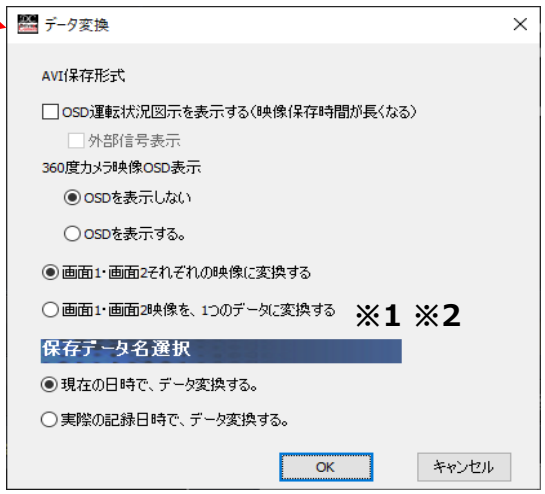
保存手順２

データー覧・トリガー別一覧のデータ変換

データー覧・トリガー別一覧をデータ変換（AVI形式
※パソコンの環境があれば、専用ビューワソフトが
なくても再生可能なデータ）します。



1.変換したい映像データの左側のチェックボックスに
　チェックを入れてください。
2.保存先指定画面が表示されます。
　保存先を指定してください。
3.[データ変換]ボタンをクリック後、右の画面が表示されます。
　AVI保存形式、保存するデータ名をどちらにするか選択後、
　[OK]ボタンをクリックしてください。（※1、※2）
　また、360度カメラ使用時、360度カメラ映像上に、
　OSD表示をするか設定してください。
　※1 変換後のファイル容量が1GBを超えると、保存される
　　AVIファイルが複数ファイルに分けられます。
　※2 カメラごとに異なるビデオフォーマット（画像解像度）を
　　設定した場合、映像の大きさが異なります。

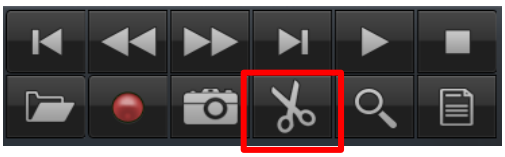


4.変換が開始されます。
5.[保存を完了しました]と表示されましたら変換完了です。

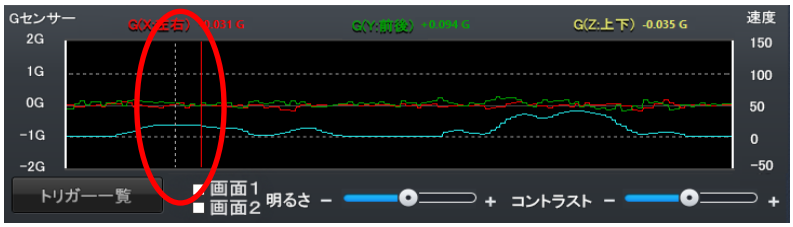
保存手順３

保存範囲の指定ファイルのデータ保存・データ変換

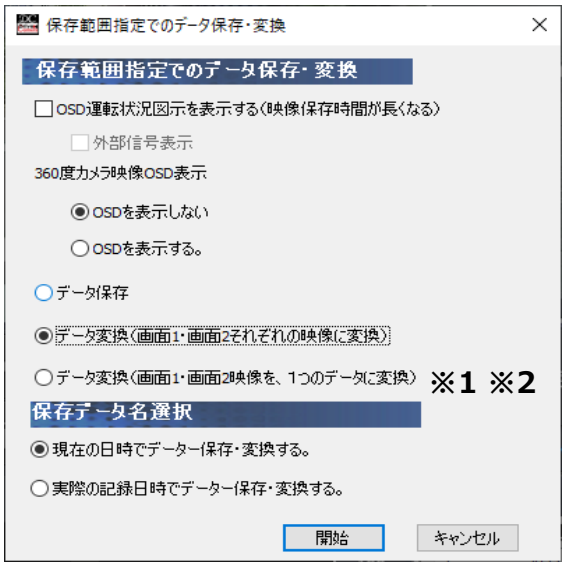
映像データの再生中に、保存したい映像部分（任意の保存範囲）のみを切り取り保存することができます。



1.映像を再生しながら、保存を開始したいところで、
　[保存範囲の指定]ボタンをクリックしてください。
2.解析グラフ内に、白色の点線が表示されます。



3.そのまま再生し、保存を終了したいところで、
　再度[保存範囲の指定]ボタンをクリックしてください。
4.保存先指定画面が表示されます。
　保存先を指定してください。
5.右の画面が表示されます。
　保存形式、保存するデータ名をどちらにするか選択後、
　[開始]ボタンをクリックしてください。（※1、※2）



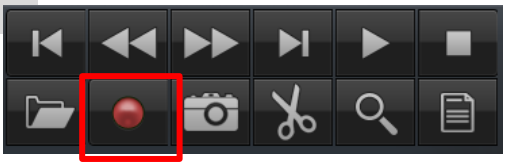
　（データ変換選択の場合）
　また、360度カメラ使用時、360度カメラ映像上に、
　OSD表示をするか設定してください。
※1 変換後のファイル容量が1GBを超えると、保存される
　　AVIファイルが複数ファイルに分けられます。
※2 カメラごとに異なるビデオフォーマット（画像解像度）を
　　設定した場合、映像の大きさが異なります。

6.保存・変換が開始されます。
7.[保存を完了しました]と表示されましたら、保存・変換完了です。
※仕様の関係上、データ保存した際、録画時間より長く保存される場合があります。

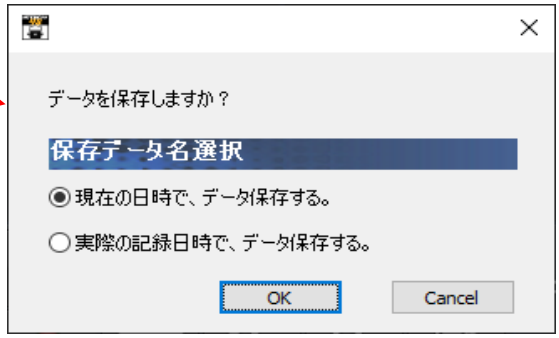
保存手順４

再生中の１ファイル（1ファイル５分）のデータ保存

映像ファイルの再生中、その１ファイルのみを
データ保存することができます。



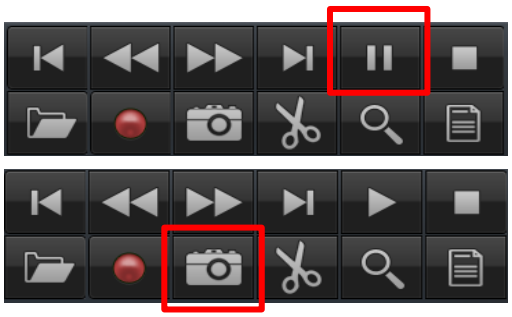
1.映像再生中に、[再生映像保存]ボタンをクリックしてください。
2.右の画面が表示されます。
　保存するデータ名をどちらにするか選択後、
　[OK]ボタンをクリックしてください。
3.保存先指定画面が表示されます。
　保存先を指定してください。
4.保存が開始されます。
5.[保存を完了しました]と表示されましたら
　保存完了です。



保存手順５

スナップ写真（静止画）の保存

映像ファイルの再生中、保存したい瞬間の映像画面を、
スナップ写真（静止画）として保存することができます。



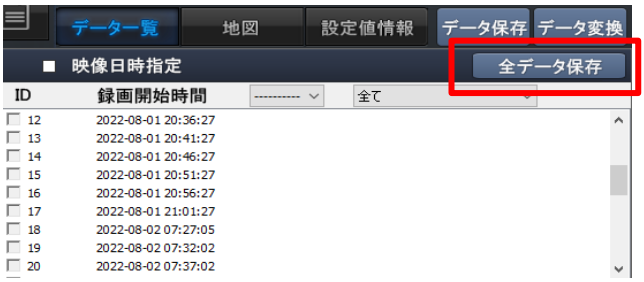
1.映像再生中に、保存したい画面で[一時停止]ボタンを
　クリックしてください。
2.[スナップ写真]ボタンをクリックしてください。
3.保存先指定画面が表示されます。
　保存先を指定してください。
4.スナップ写真が保存されます。

保存手順６

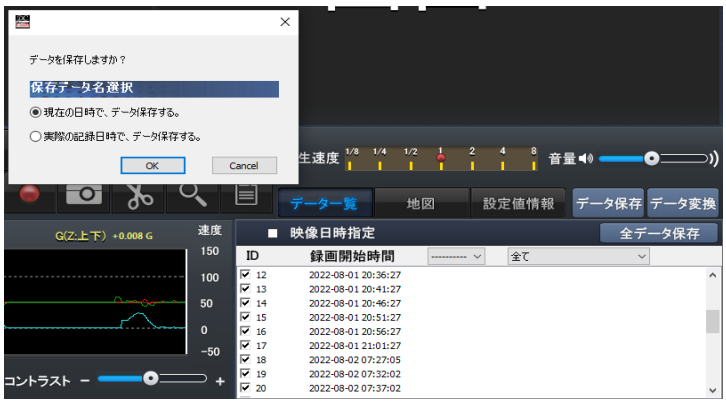
全データ保存

SDカード内全ての映像データと同じものを保存することができます。

1.録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.専用ビューワソフトを立ち上げ、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
3.データ一覧が自動的に表示されます。
4.[全データ保存]ボタンをクリックしてください。



5.すべてのチェックボックスに☑チェックが入り、
　右の画面が表示されます。
　保存するデータ名をどちらにするか選択後、
　[OK]ボタンをクリックしてください。



6.保存先指定画面が表示されます。
　保存先を指定してください。
7.保存が開始されます。
8.[保存を完了しました]と表示されましたら
　保存完了です。

※全データ保存は、パソコンへの保存が必須となります。
※SDカードからSDカード、デバイスへの全データ保存はできません。
※パソコンのスペック（空き容量）によって、保存するまで時間がかかります。
※パソコンの使用環境によって、HDDの空き容量や他のソフトを実施中にてフリーズしたり、
　保存に失敗する場合もあります。

SDカードの専用フォーマット方法

SDカードをフォーマットする

EV-WITNESSは、SDカードの専用フォーマットを行っていないとご使用いただけません。
（出荷時に同梱されるSDカードは専用フォーマット済みです。SDカード名称：EV-SD）

Q	どのようなとき、専用SDカードの専用フォーマットが必要ですか？
A	専用SDカードを使用する前に、専用ビューワソフトで専用フォーマットをすることで、お使いいただけます。また、専用SDカードの映像データを消去したい場合も、必ず専用ビューワソフトのSD専用フォーマットをお使いください。

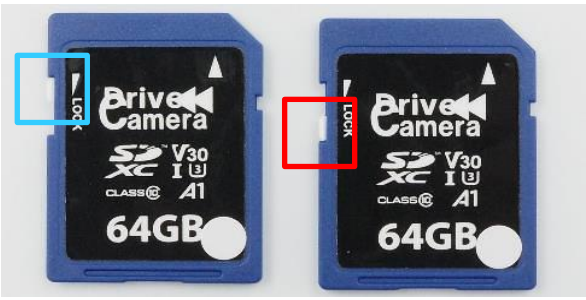
専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。
「専用ビューワソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。
Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。
弊社商品EV-WITNESSは特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューワソフトで、SD専用フォーマットを行ってください。
※SD専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューワソフトの専用フォーマットで消去してください。
※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ保存（バックアップ）してください。

使用上のご注意

※SDカードを専用フォーマットする前に、SDカードの状態をご確認ください。SDカードのスイッチ「LOCK」（書き込み禁止）が解除されていることをご確認ください。



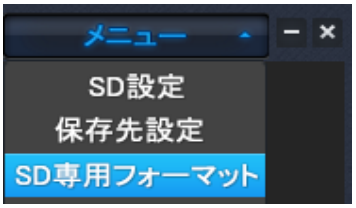
スイッチが上
「LOCK」解除

スイッチが下
「LOCK」

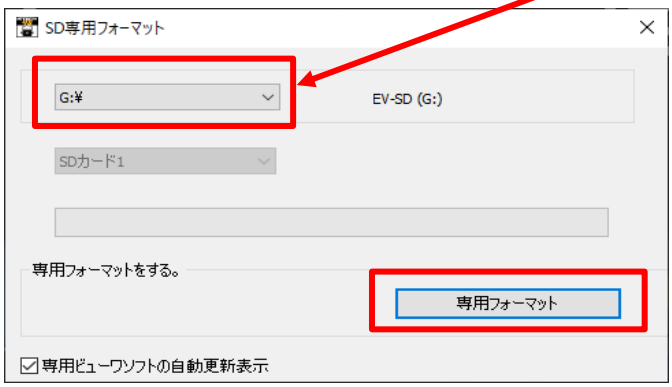
※シール等の仕様が変更になる場合がございます。

専用フォーマット手順

1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.専用ビューワソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD専用フォーマット]をクリックしてください。

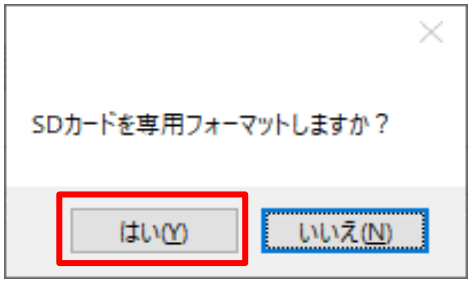


3.下記画面が表示されます。SD専用フォーマットを行うリムーバブルディスクを確認後、
[専用フォーマット]ボタンをクリックしてください。

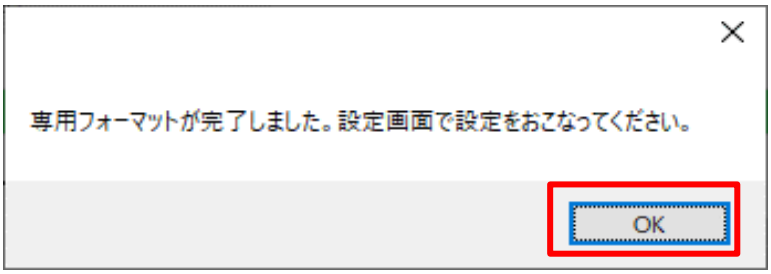


※リムーバブルディスクの
選択は不要です。
読込先に、接続したSDカードが
自動的に読み込まれます。
EV-SDと表示されているか
ご確認ください。

4．「SDカードを専用フォーマットしますか？」のメッセージが表示されます。
[はい]をクリックしてください。



5. SD専用フォーマットが完了しましたら、下記画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックして、SD専用フォーマットを終了させてください。



専用フォーマット後、メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
「SD設定」をクリックし、SDカードの各種設定・保存を行ってください。
また、SDカードの専用フォーマットを行った際、すべての設定値はリセットされます。
再度、SDカードの各種設定・保存を行ってください。

使用上のご注意

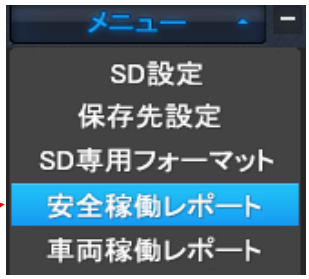
※SDカードのスイッチ「LOCK」（書き込み禁止）が解除されていても、専用フォーマットできない場合は、「管理者アカウント」にて、専用フォーマットを行ってください。

安全稼働レポート

映像を管理する

※安全稼働レポートは、予告なく仕様変更をすることがありますので、ご了承ください。

録画された映像データから、運行状況を把握し、運行管理をすることができます。
（安全稼働レポート印刷可能）



作成手順

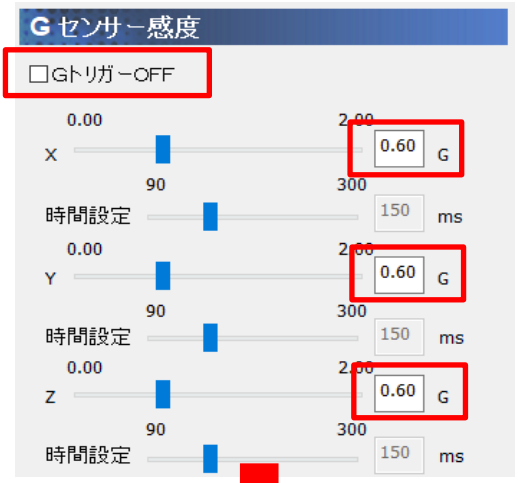
1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.専用ビューワソフトを立ち上げ、
メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から
[安全稼働レポート]をクリックしてください。

3.右記のレポート作成画面が表示されます。
リムーバブルディスク選択後、安全稼働レポートを
作成したい映像データの日時（開始日付・時間～
終了日付・時間）を選択してください。
※日付・時間設定は、**24時間以内**で
設定してください。
※録画されている映像データの範囲内で、
日付・時間を選択してください。

4.会社名・車番・乗務員名（氏名）を
入力してください。
※最大10文字。

5.レポート評価値の設定をしてください。

SDカードの設定で
[Gセンサー感度]設定がON（有り）の場合



レポート評価値が、設定されている
Gセンサー感度の数値に切り替わります。

SDカードの設定で
[Gセンサー感度]設定がOFF（無し）の場合

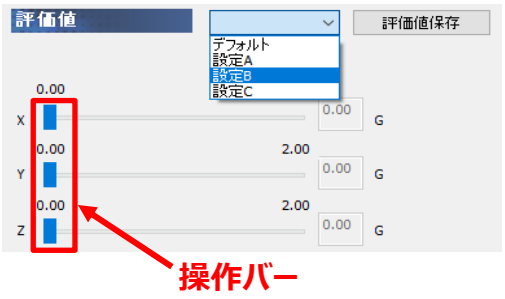
レポート評価値が、固定（デフォルト）の
数値に切り替わります。
（X:0.80G、Y:0.70G、Z:0.80G）

設定する評価値は［安全稼働レポート］の以下の部分に反映されます。
X-G値　(左右)→急ハンドルの実測回数
Y-G値 (前後)→急発進・急ブレーキの実測回数
Z-G値 (上下)→段差振動の実測回数
※X軸・Y軸・Z軸の左右・前後・上下は、本体の取り付け位置と方向により変わります。

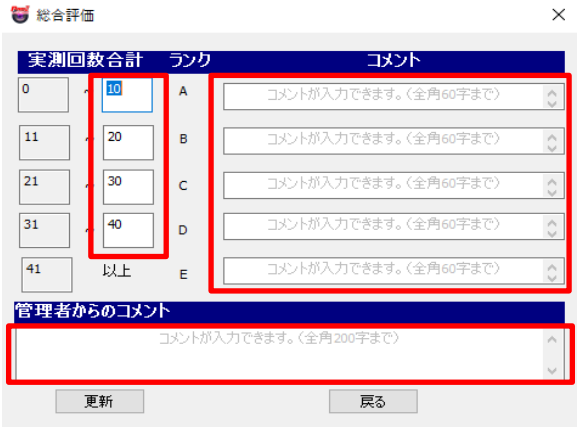
レポート評価値を、専用ビューワソフトに最大３パターン保存することができます。

1.評価値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。
2.操作バーを動かし、X軸・Y軸・Z軸のGセンサー数値を設定してください。
　設定単位・・・0.01G（0.00G～2.00の範囲内で設定可）
3.[評価値保存]ボタンをクリックしてください。
4.「評価値を保存しました！」のメッセージが
　表示されましたら、評価値の保存が完了となります。
　[OK]ボタンをクリックして、設定を終了させてください。

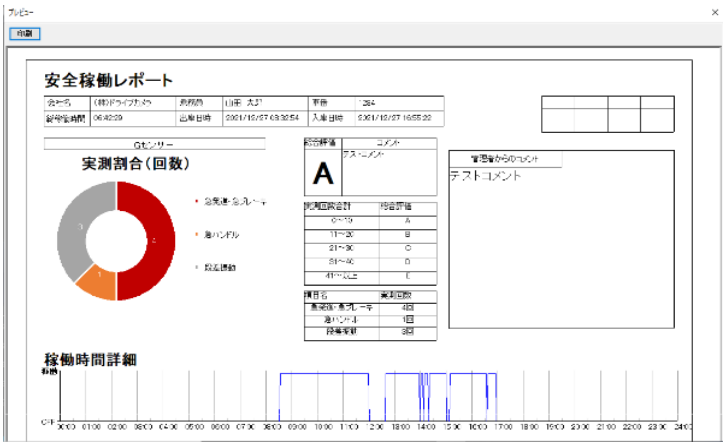
※デフォルト選択時、固定（デフォルト）の数値が
　表示されます。
　(X:0.80G、Y:0.70G、Z:0.80G)



6.評価基準の[設定]ボタンをクリックしてください。
　右記の総合評価設定画面が表示されます。
　ランクの評価基準となる「実測回数合計」の設定、
　レポートの「コメント」の入力後、[更新]ボタンを
　クリックしてください。
　（「実測回数合計」「コメント」が専用ビューワソフトに
　保存されます。）
　※「管理者からのコメント」は保存されません。



7.「更新しました！」のメッセージが
　表示されましたら、
　[OK]ボタンをクリックしてください。

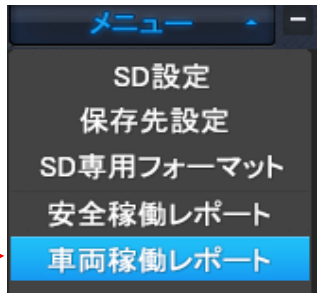


9.印刷プレビューの[印刷]ボタンをクリックしてください。安全稼働レポートが印刷されます。

車両稼働レポート

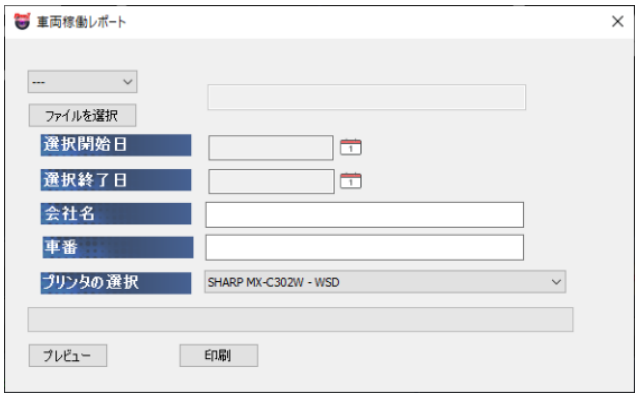
※車両稼働レポートは、予告なく仕様変更をすることがありますので、ご了承ください。

録画された映像データから、総稼働時間を確認することができます。
（車両稼働レポート印刷可能）

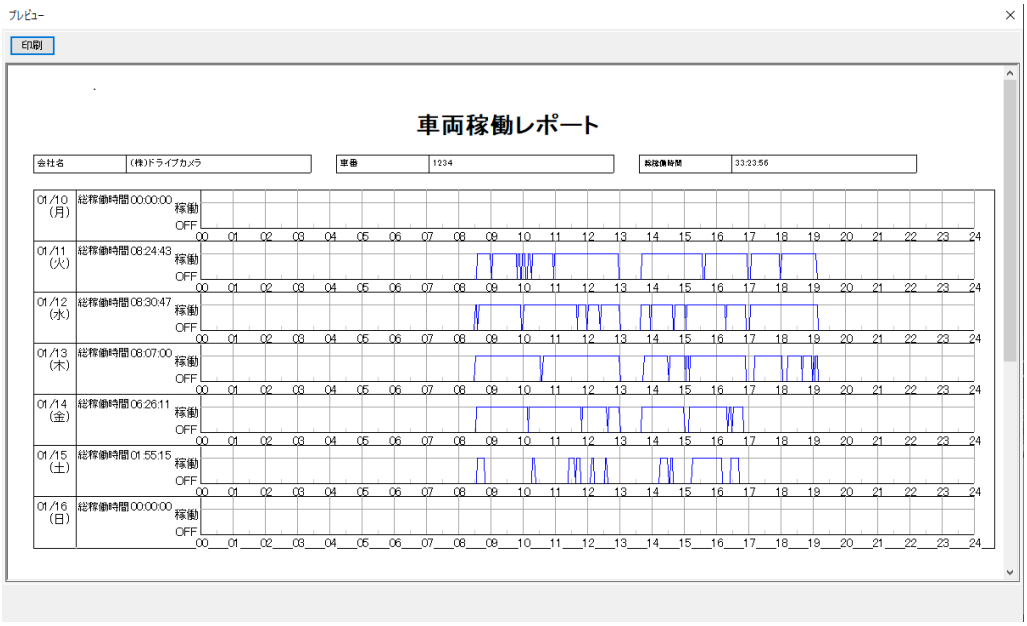


作成手順

1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2.専用ビューワソフトを立ち上げ、
メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から
[車両稼働レポート]をクリックしてください。
3.下記のレポート作成画面が表示されます。
リムーバブルディスク選択後、車両稼働レポートを作成したい映像データの日付を選択してください。
※日付設定は、**7日間以内**で設定してください。
※録画されている映像データの範囲内で、日付を選択してください。



4.会社名・車番を入力してください。
※最大10文字。
5.印刷するプリンタの選択後、[プレビュー]ボタンをクリックしてください。印刷プレビューが表示されます。



6.印刷プレビューの[印刷]ボタンをクリックしてください。車両稼働レポートが印刷されます。

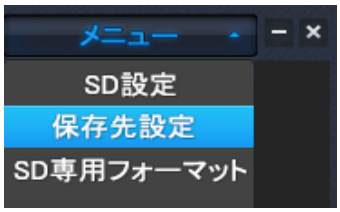
CSV出力

運行状況を把握し、運行管理をすることができます。（CSV出力可能）

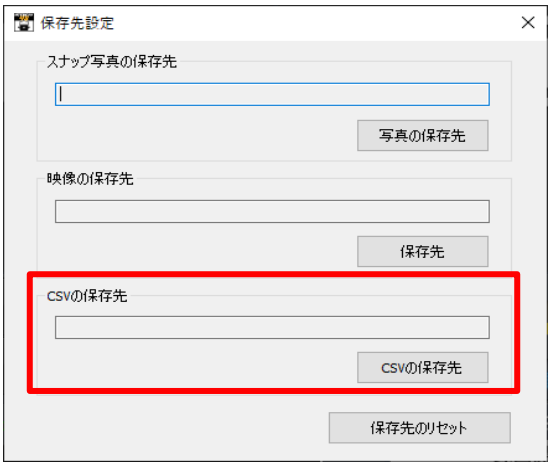
CSV出力方法

1.CSV出力する専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。

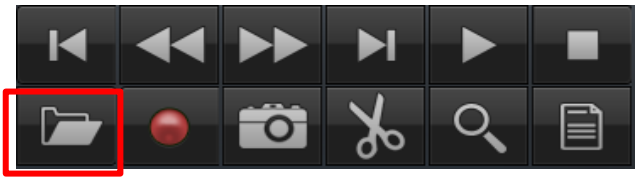
2.専用ビューワソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]
プルダウン項目から、[保存先設定]をクリックしてください。



3.画面のCSVの保存先の「CSVの保存先」ボタンをクリックし、
保存先を設定してください。
右上の×ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

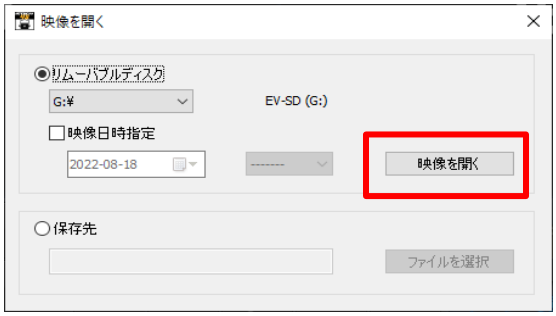


4.メイン画面の[映像を開く]ボタンをクリックしてください。



5.接続したSDカードが自動的に読み込まれます。
EV-SDと表示されているかご確認ください。

6.[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
データ一覧が自動的に表示されます。
※1度CSV出力した映像データは、
再度CSV出力されません。



7.手順3で設定したCSVの保存先に、
EV-WITNESS個体識別番号（EV＋数字6桁）のフォルダが
自動で作成され、フォルダ内にCSVが出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	機器コード	時間	速度（最大）	速度（最小）	速度（平均）	距離[m]	緯度	経度	Gセンサーx	Gセンサーy	Gセンサーz
2	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0313	0.0117	0.0195
3	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0625	0.0156	0.0195
4	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0508	-0.0078	0.0234
5	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0703	-0.0117	0.0547
6	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0586	0.0117	0.043
7	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0508	-0.0156	0.0195
8	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0508	-0.0117	0.0195
9	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0508	-0.0117	0.0156
10	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0547	-0.0117	0.0195
11	EV000004	2021/10/22 9:36	0	0	0	0	0	0	0.0508	-0.0156	0.0156